

令和元年度

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 概要（報告）

令和元年12月17日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
富山県部会

産学官が連携した「令和元年度 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を開催し、3県部会（新潟・富山・石川）からの活動報告や近年の新卒者の雇用状況等を踏まえて意見交換を実施。

【日 時】 令和元年10月31日（木）10：00～11：50

【開催地】 北陸地方整備局、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所

（※3会場でテレビ会議、新潟会場はタブレット端末によるペーパーレス会議を実施）

【参加機関】

〔行政機関〕 国交省北陸地整、厚労省各県労働局・3県（土木部・教育委員会 ※新潟県土木部は欠席）、新潟市（土木部）

〔業界団体〕 日建連北陸支部、各県建設業協会、建設ITカンパニー協会北陸支部、各県測量設計業協会、北陸地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

〔教育機関〕 建設系大学、高等専門学校、建設系高等学校

【協議会での主な意見】

- ① 普通科高校に対しては、インフラツーリズム等の取り組みを推進し、担当教員や生徒の親に対し建設業の魅力や労働条件の改善等についてもっと深く理解してもらう等の取り組みが必要。
- ② 建設業を更にアピールするには、普段見ることが出来ない現場（ダム・新幹線等）の見学ツアーなどを実施すると良い。
- ③ 令和2年度も引き続き、好評な合同企業セミナーなどの各種取り込みを実施する。
- ④ 現場では就労環境の改善（働き方改革）を推進すると共に、新3K等丁寧な情報発信に努める必要がある。
- ⑤ 離職率の増加対策に関する研究は引き続き行う。



日刊建設工業新聞	2019年(令和元年)	11月 / 日 / 金 曜日
10面 (7/2)		

新潟建設新聞	19.11.01
--------	----------

保 確 協 議 会
担 成 協 議

教育者へのPRも

新規入職者対策を検討

担い手不足解消へ職 育 学 が一体で情報共有などを行う、北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会が10月31日に開かれた。本年度の活動状況や来年度の取り組みに向けた協議、活動予定について意見が交わされた。担い手の確保へ現場見学会の対象拡大や学生に加え、進路を左右する高校、大学などの教育にも業界を知ってもらう取り組みを進めるとを確認した。

本年度には担い手確保 学生、115件が小中 保・育成に関する取り組み、開業や一般団体、建 みたして各機関で現場見 設系以外の学生を対象と 学会や講師派遣など4 7件の取り組みを実施。10月7月に村上市内 うち132件が建設系の「建設業界魅



取り組みの方向性を協議

力発見ツアー」では、土さわらない機械を体験で 木学科以外の中高生の 生徒も参加。一語は、 すい現場であることが分 かった。など、好意的な 意見もあり、対象の拡大 が提案された。また高校 普通科から建設業への就 職は、各校1〜2人程度 で、生徒に加えて、高校

の教員や工学部でも土木 以外の教授を対象に業界の PRを進めていくことを 確認した。

新潟労働局がまとめた 県内2019年3月高校 卒業者の建設業の求人 就職状況(6月末現在) は、県内求人数が210 0人で前年比13・5%増 加し、全産業中、製造業 に続く2番目の数字と なったが、就職者数は3 40人で、前年度から増 減はない。

R1.11.1 (金)
新潟建設新聞
(1面)

手 協 議 会
担 成 協 議

**日建連、見学会で工夫
専門ものづくり広場に出展**

北陸建設界の担い手確保 会では新潟、富山、石川の 各支部は、学生対象 日本建設業連合会(日建 連)北陸支部は、学生対象 に行っている見学会により 詳細な解説を加えるといっ た工夫を凝らし、さらに掘 り下げた内容にもなるよう 討していることを表明。

日本建設業連合会(日建 連)北陸支部は、小学生 を対象に道路建設の理解を 深めてもらう目的で「出前 講座」を行つたと説明した。

新潟県建設業協会は、小 学生対象の現場見学会、中 学生対象の「出前講座」、 高校生対象の現場見学会、 インターンシップ(就業体 験)やデュアルシステムに よる学生と生徒の研修、建 設業就職説明会など、20 年度も継続する。

石川県建設業協会は、現 場見学会や生徒・学生との 意見交換会、インターンシ ップや会員企業の職員を高 校や大学に派遣する研修、 ラジオ放送によるPR活動 など、20年度も継続する。

このほか、普通高校との意 見交換会の拡充、高校の生



「ものづくり広場」に、新潟県建設専門工業界団体連合会

(新潟建設連)と二階に19 年度に引き続いて参加する 予定で準備を進めていると 説明した。

日本建設業連合会(日建 連)北陸支部は、学生対象 に行っている見学会により 詳細な解説を加えるといっ た工夫を凝らし、さらに掘 り下げた内容にもなるよう 討していることを表明。

日本建設業連合会(日建 連)北陸支部は、小学生 を対象に道路建設の理解を 深めてもらう目的で「出前 講座」を行つたと説明した。

新潟県建設業協会は、小 学生対象の現場見学会、中 学生対象の「出前講座」、 高校生対象の現場見学会、 インターンシップ(就業体 験)やデュアルシステムに よる学生と生徒の研修、建 設業就職説明会など、20 年度も継続する。

石川県建設業協会は、現 場見学会や生徒・学生との 意見交換会、インターンシ ップや会員企業の職員を高 校や大学に派遣する研修、 ラジオ放送によるPR活動 など、20年度も継続する。

このほか、普通高校との意 見交換会の拡充、高校の生

R1.11.1 (金)
日刊建設工業新聞
(10面)

建設工業新聞 朝刊 令和元年11月1日(金) P. /

富山新聞 (朝刊) 令和元年11月1日(金) 2面



新潟、富山、金沢会場をテレビ会議で結んだ協議会(写真は金沢会場)

若者の建設界への入職 機関、行政機関が一体と 促進、離職防止対策につ なり考える「北陸建設界 担い手確保・育成協議

小中学生、保護者への発信を 建設界の担い手確保・育成で

協議会が意見交換

新潟、富山、石川の3県 農から「小中学生」を 担い手や普通科高校 への進学に建設界の魅力 を発信する(新潟県 部会)「保護者にはま だに建設業界が「Kと認 識されておらず、これの払 拭を」「資金向上と建設 産業全体で考える」(以 上、富山県部会)「離職 対策として中堅社員の見 識改革が重要」「女性を ターゲットとした「セー ル」以上、石川県部 会」といった提案や意 見があったといふ。

「高卒で建設業」 離職率46・8% 推進協議会で報告

北陸建設界の担い手確保 育成推進協議会は31日、 富山市の富山河川国道事務 所で開かれ、県内の産業別 離職率が報告された。20 15年3月に高校を卒業し た生徒のうち、建設業に就 職後3年以内の離職率は46 ・8%となった。全国平均 は46・7%だった。

富山労働局によると、高 卒者の就職後3年以内の離 職率は、生活関連サービズ 業・娯楽業の58・8%が最 も高く、宿泊業・飲食サー ビズ業の51・2%、小売業 の50%に次いで建設業が高 かった。全産業の平均は31 ・1%だった。

R1.11.1(金)
富山新聞 (1面)

R 1.11.1(金)
建設工業新聞
(富山版、石川版、1面)

事務局からは離職対策「加」「若手技術者表彰制」として「公共工事設計労務単体の7年連続アツクション」の発給などをはじめ「18年度」が示された。

7月末時点の離職率 21%増 だが、この日は来年度の活動予定について各団 体から報告があった。

令和元年度 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

日時：令和元年10月31日(木)10:00～12:00

場所：北陸地方整備局 4階 合同会議室

富山河川国道事務所 3階 会議室

金沢河川国道事務所 2階 会議室

※新潟・富山・金沢の3会場によるテレビ会議

<議事次第>

1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者の紹介
4. 規約について
5. 議事
 - 1) 各県労働局からの情報提供 【各県労働局】
 - 2) 令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み
 - ①令和元年度の部会活動総括
 - ②活動事例の紹介
 - 3) 取り組みの課題
 - ①普通科高校等への取り組み強化及び小・中学生等の将来世代に対する取り組みについて
 - ②学生・生徒へのコンテンツの工夫や、各取り組みに関する効果の確認について
 - ③3年以内の離職者に対する就労環境の改善推進(働き方改革)について
 - 4) 令和2年度の主な取り組み予定
 - 5) 議題及び報告事項
6. その他
7. 閉会

<配布資料>

議事次第、出席者名簿、配席図

(資料1) 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 設立趣旨

(資料2) 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 規約

(資料3) 各県労働局からの情報提供 (各県労働局提供)

(資料4) 令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

①令和元年度の部会活動総括

②活動事例の紹介

(資料5) 取り組みの課題

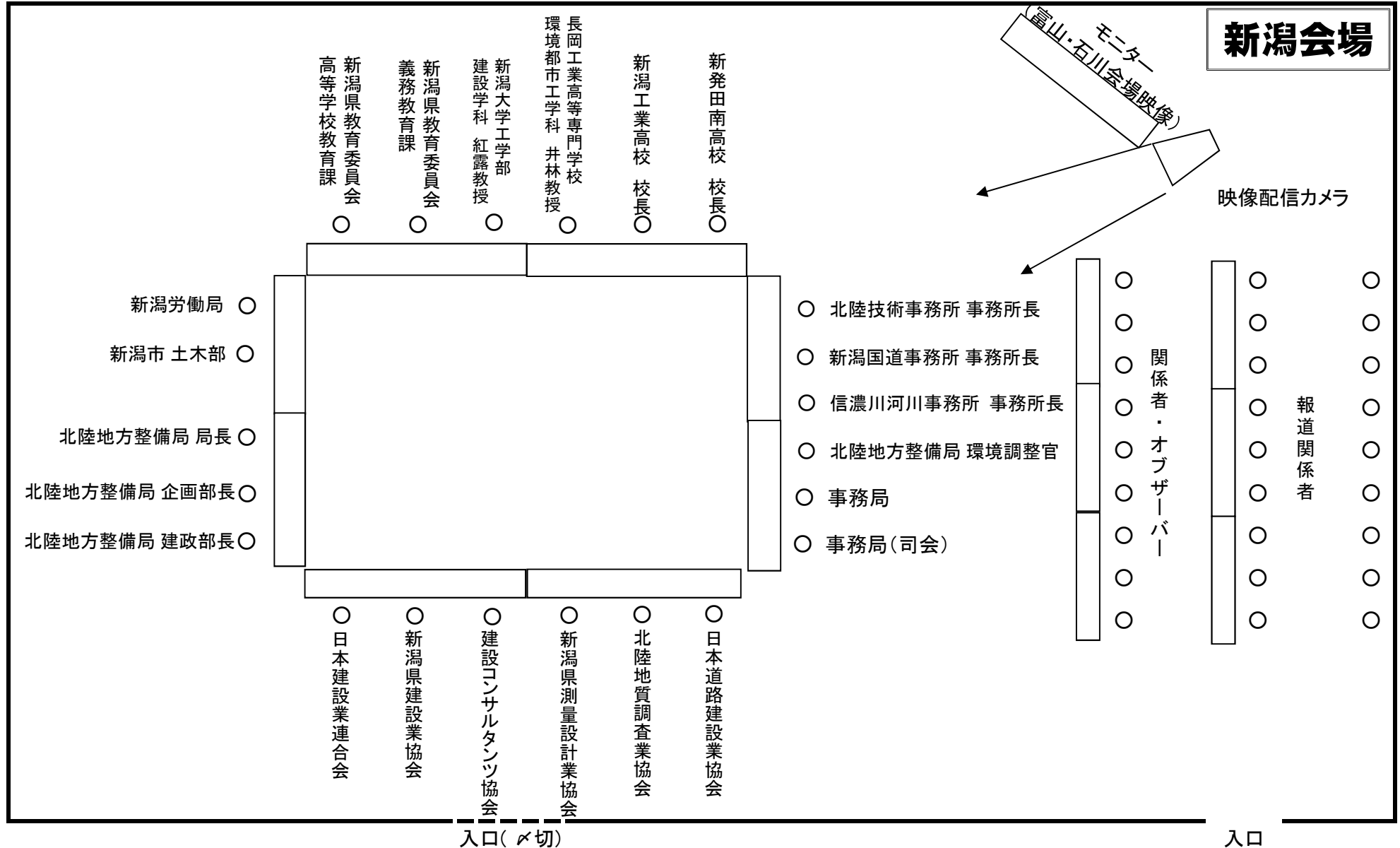
①普通科高校等への取り組み強化及び小・中学生等の将来世代に対する取り組みについて

②学生・生徒へのコンテンツの工夫や、各取り組みに関する効果の確認について

③3年以内の離職者に対する就労環境の改善推進(働き方改革)について

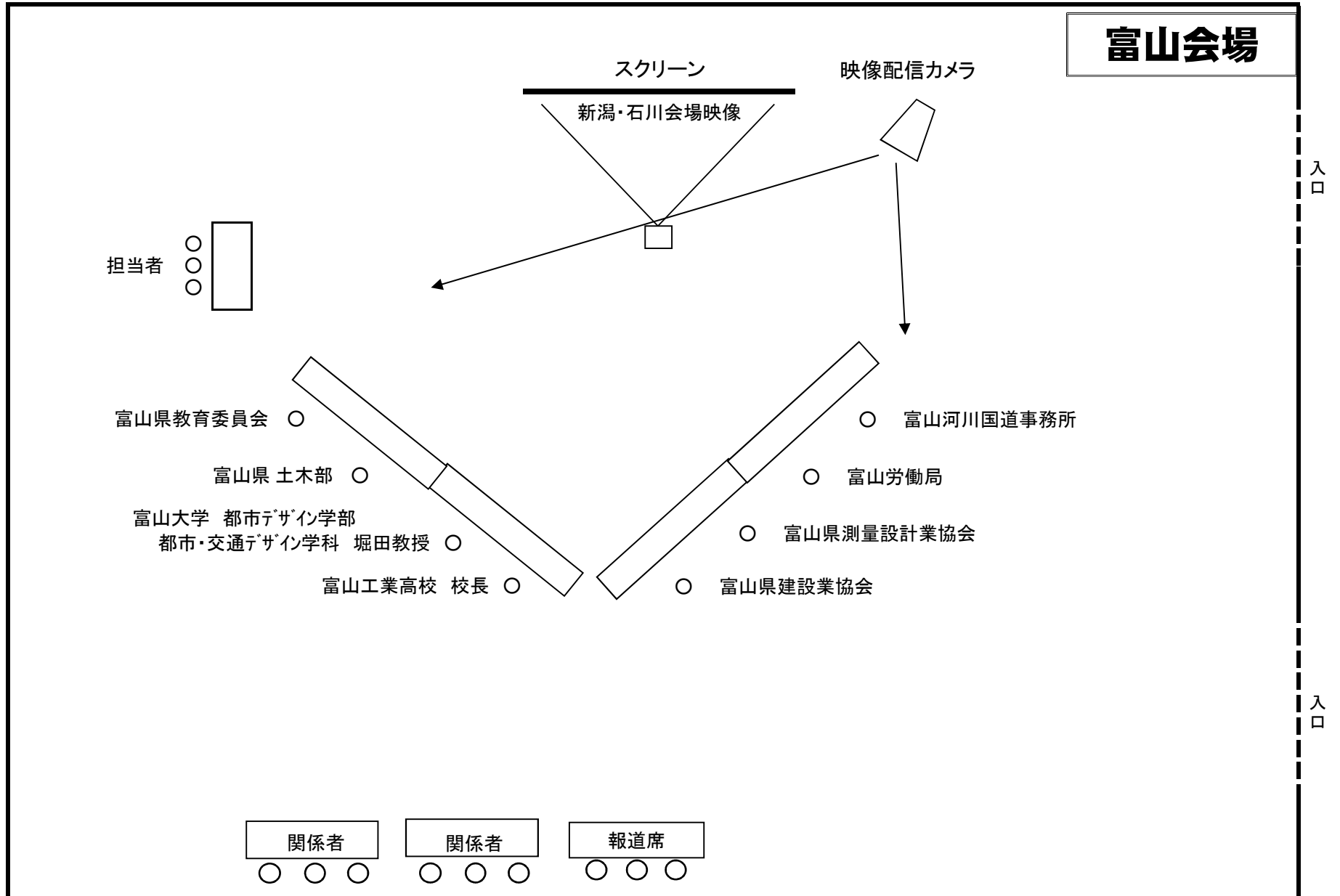
(資料6) 令和2年度の主な活動予定

(資料7) 課題及び報告事項



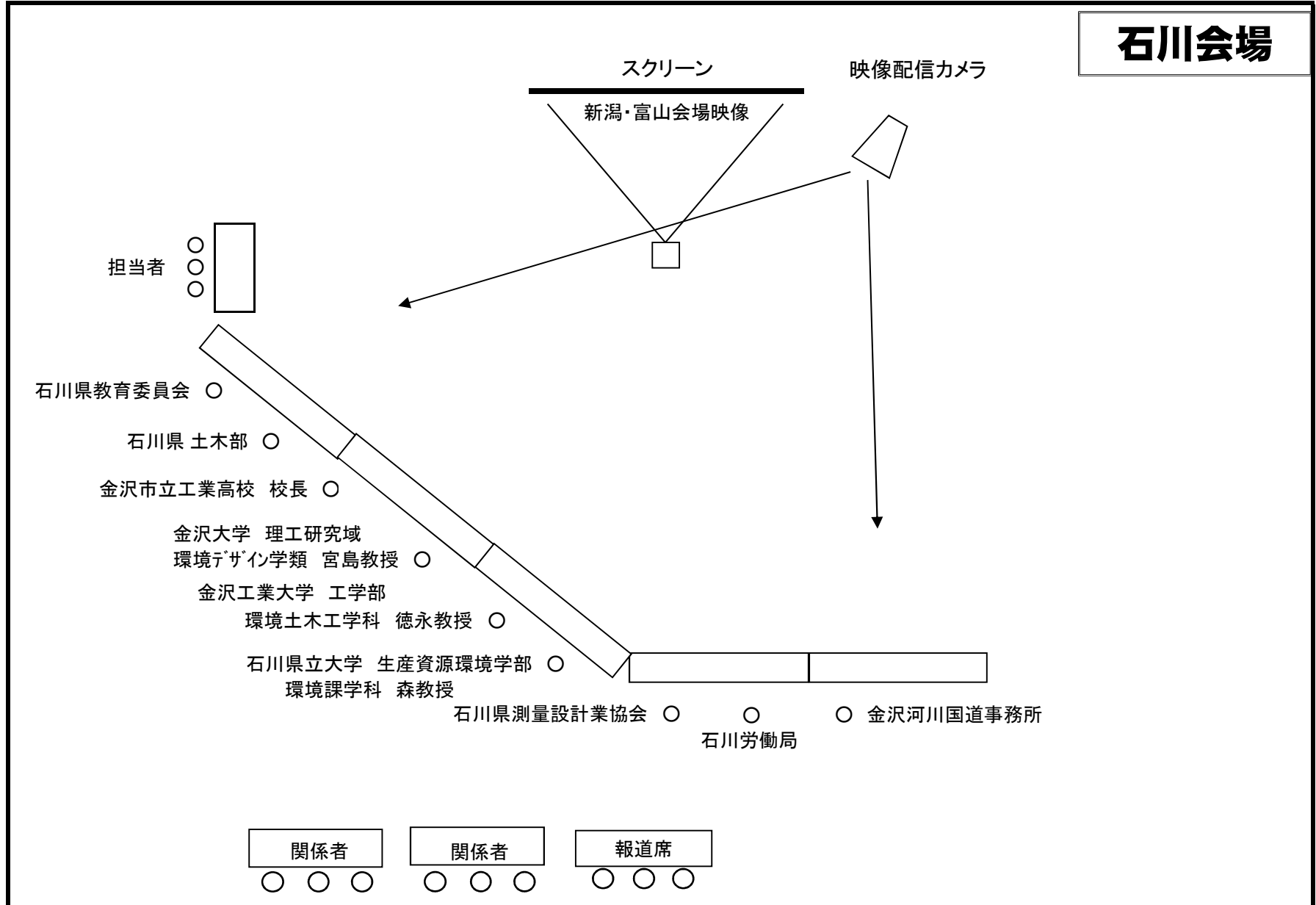
令和元年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 配席図（富山会場） 10月31日（木） 10:00～

場所：3F 富山河川国道事務所 大会議室



令和元年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 配席図（石川会場） 10月31日（木） 10:00～

場所: 2F 金沢河川国道事務所 大会議室



各県労働局からの情報提供

1. 新潟労働局…………… P1

新潟県の建設分野の労働力需給状況等

2. 富山労働局…………… P8

富山県の建設分野の労働力需給状況等

3. 石川労働局…………… P13

石川県の建設分野の労働力需給状況等

新潟県の建設分野の労働力需給状況等

新 潟 労 働 局

最近の雇用失業情勢及び

平成 31 年 3 月新規学校卒業者の職業紹介状況について

(1) 最近の雇用失業情勢について（令和元年 8 月）

- ・新潟県内における 8 月の有効求人倍率は 1.59 倍となり、前月に比べて 0.04 ポイント低下した。新規求人数は 18,646 人で前年同月比 11.0%減少し、6 か月連続で減少したが、建設業からの新規求人は前年同月に比べ 3.5%増加しており、2 か月ぶりの増加となった。
- ・新規求職者数は 7,494 人で前年同月比 9.3%減少し、2 か月ぶりの減少となった。
- ・これにより新潟労働局情勢判断は「県内の雇用情勢は改善が進んでいる」とした。

(2) 平成 31 年 3 月新規学校卒業者の職業紹介状況について（令和元年 6 月末日）

- ・新潟県内の高校生の就職率は昨年引き続き 100%、大学生等の就職率については、98.5%（前年比 ▲0.2%）となった。
- ・高等学校新規卒業者に係る県内求人数は年々増加し、9,349 人（前年比 6.3%増）となったが、求職者数、県内就職者数についてはいずれも前年に比べ減少した。
- ・また、県内建設業の求人は 2,100 人（前年比 13.5%増）であるのに対し、建設業の就職者数については 340 人で前年度と増減なし、充足率は 16.1%であった。建設業関係の求人数は、製造業に次いで全体で 2 番目に多くなっているが、県内就職者は依然少ない状況となっている。

最近の雇用失業情勢

新潟労働局

→ 県内の雇用情勢は改善が進んでいる。

令和元年8月の求人・求職等

- 有効求人倍率
 - 有効求人倍率(季節調整値)は1.59倍で、前月に比べて0.04ポイント低下
 - ・原数値では、1.62倍で前年同月(1.75倍)より0.13P低下
 - ・全国の有効求人倍率(季節調整値)は、1.59倍で、前月と同水準
 - ・新潟県は全国20位(前月は14位)
 - 完全失業率(季節調整値:全国)は2.2%で、前月と同水準
- 求人の状況
 - 新規求人(原数値)は前年同月比6か月連続で減少
 - ・新規求人 18,646人(同11.0%減)
 - ・主な産業の前年同月比

建設業(2か月ぶりに増加)	3.5%増
製造業(7か月連続で減少)	23.1%減
運輸業(2か月ぶりに減少)	10.0%減
卸売・小売業(2か月ぶりに減少)	12.0%減
宿泊・飲食業(3か月ぶりに増加)	9.5%増
医療・福祉業(6か月ぶりに減少)	12.5%減
サービス業(6か月連続で減少)	16.3%減
 - 有効求人(原数値)は前年同月比6か月連続で減少
 - ・有効求人 53,241人(同7.4%減)

- 求職の状況
 - 新規求職者(原数値)は前年同月比2か月ぶりに減少
 - ・新規求職者7,494人(同9.3%減)
 - ・【パートを除く常用】在職者(同12.1%減)、離職者(同5.8%減)、無業者(同16.8%減)
 - 有効求職者(原数値)は前年同月比2か月ぶりに減少
 - ・有効求職者 32,808人(同0.2%減)
 - 正社員有効求人倍率
 - 正社員有効求人倍率(原数値)は1.30倍で、前年同月より0.02ポイント低下
 - ・正社員の有効求人(原数値)は26,851人(同3.6%減)
 - ・正社員の有効求職者(原数値)は20,729人(同2.0%減)
 - 雇用保険の状況
 - 雇用保険被保険者数は前年同月差53か月連続して増加 738,022人(2,527人増)
 - 雇用保険受給資格決定件数は前年同月比8か月ぶりに減少 1,711件(8.8%減)
 - 雇用保険受給者実人員は前年同月比7か月連続して増加 7,561人(4.5%増)

新規学卒者・障害者の状況

- 新規学卒者(令和2年3月卒業予定者)(8月末日現在)
 - 【高校生】
 - ・求人数 9,064人(前年同月比3.4%増)
- 障害者の雇用状況(元年度累計(8月まで))
 - ・新規求職申込件数(8月末有効求職者数3,992人) 1,620件(前年同期比3.7%増)
 - ・就職件数

合計	1,029件(同 4.1%増)
身体障害者	252件(同 4.2%減)
知的障害者	204件(同 7.3%減)
精神障害者	506件(同 12.4%増)
その他の障害者	67件(同 21.8%増)
 - ・民間企業法定雇用率(2.2%)
 - 新潟県の実雇用率(30年6月1日現在) 2.06%(前年1.96%) 全国平均2.05%

安定所別有効求人倍率

地域	局全体	下越							中越				上越		
		新潟	新発田	新津	巻	佐渡	村上	長岡	三条	十日町	南魚沼	上越	柏崎	糸魚川	
元年8月	1.62	1.78	1.27	2.11	1.41	1.37	1.41	1.45	2.02	1.24	1.85	1.44	1.17	2.11	
30年8月	1.75	1.90	1.29	2.34	1.44	1.15	1.40	1.60	2.10	1.50	2.53	1.50	1.38	1.82	
前年差(P)	▲0.13	▲0.12	▲0.02	▲0.23	▲0.03	0.22	0.01	▲0.15	▲0.08	▲0.26	▲0.68	▲0.06	▲0.21	0.29	

○有効求人倍率の状況(原数値)

- 前年同月差で、糸魚川所、佐渡所、村上所で上昇し、他の10所は低下した。
 - ・有効求人倍率の高い所は、①新津所、糸魚川所(2.11倍)、③三条所(2.02倍)となった。
 - ・有効求人倍率の低い所は、①柏崎所(1.17倍)、②十日町所(1.24倍)、③新発田所(1.27倍)となった。

平成31年3月新規学校卒業者の職業紹介状況 (令和元年6月末日現在)(最終)

新潟労働局職業安定課

1 高等学校

	本年	前年同月	増減数	増減率(%)	
① 求職者数	3,297	3,386	▲ 89	▲ 2.6	
② 県内求人数	9,349	8,793	556	6.3	
就職者数	③ 総数	3,297	3,386	▲ 89	▲ 2.6
	④ うち県内	2,823	2,955	▲ 132	▲ 4.5
	⑤ うち県外	474	431	43	10.0
⑥ 求人倍率 ②/①	2.84	2.60	0.24		
⑦ 就職率(%) ③/①	100.0	100.0	0.0		
	男	100.0	100.0	0.0	
	女	100.0	100.0	0.0	
⑧ 県内就職構成比(%) ④/③	85.6	87.3	▲ 1.7		
	男	86.4	88.5	▲ 2.1	
	女	84.5	85.4	▲ 0.9	
⑨ 就職未定者数	-	-	0	-	
	男	-	-	0	-
	女	-	-	0	-

※高校生の採用選考は9月16日開始。

2 大学等(学校扱)

	本年	前年同月	増減数	増減率(%)	
① 求職者数	9,154	9,117	37	0.4	
就職者数	② 総数	9,016	8,997	19	0.2
	③ うち県内	5,112	5,356	▲ 244	▲ 4.6
	④ うち県外	3,904	3,641	263	7.2
⑤ 就職率(%) ②/①	98.5	98.7	▲ 0.2		
	男	98.2	98.2	0.0	
	女	98.7	99.1	▲ 0.4	
⑥ 県内就職構成比(%) ③/②	56.7	59.5	▲ 2.8		
	男	51.5	54.3	▲ 2.8	
	女	61.0	64.0	▲ 3.0	
⑦ 就職未定者数	138	120	18	15.0	
	男	73	76	▲ 3	▲ 3.9
	女	65	44	21	47.7

※大学生等の正式内定は、10月1日以降。

2-1 大学等 学校種別内訳(学校扱)

	大学(18校)			短大(5校)			高専(1校)			専修等(59校)			
	本年	増減数	増減率	本年	増減数	増減率	本年	増減数	増減率	本年	増減数	増減率	
求職	4,232	192	4.8	605	39	6.9	109	36	49.3	4,208	▲ 230	▲ 5.2	
就職者数	総数	4,177	211	5.3	604	40	7.1	108	35	47.9	4,127	▲ 267	▲ 6.1
	うち県内	1,925	▲ 30	▲ 1.5	517	20	4.0	44	8	22.2	2,626	▲ 242	▲ 8.4
	うち県外	2,252	241	12.0	87	20	29.9	64	27	73.0	1,501	▲ 25	▲ 1.6
就職率(%)	98.7	0.5		99.8	0.2		99.1	▲ 0.9		98.1	▲ 0.9		
	男	98.3	0.3	100.0	1.0		98.9	▲ 1.1		98.0	▲ 0.3		
	女	99.1	0.8	99.8	0.0		100.0	0.0		98.1	▲ 1.5		
県内就職構成比(%)	46.1	▲ 3.2		85.6	▲ 2.5		40.7	▲ 8.6		63.6	▲ 1.7		
	男	45.0	▲ 3.1	87.1	6.3		41.9	▲ 8.9		58.4	▲ 1.2		
	女	47.3	▲ 3.2	85.3	▲ 4.5		36.4	▲ 6.5		67.3	▲ 2.5		
就職未定者数	55	▲ 19	▲ 25.7	1	▲ 1	▲ 50.0	1	1	#DIV/0!	81	37	84.1	
	男	37	▲ 4	▲ 9.8	-	▲ 1	▲ 100.0	1	1	#DIV/0!	35	1	2.9
	女	18	▲ 15	▲ 45.5	1	0	0.0	-	0	#DIV/0!	46	36	360.0

※大学等(学校扱)の数値について

①求職者数・就職者数は、各大学等が学生からの報告等により把握している状況を取りまとめたもの。

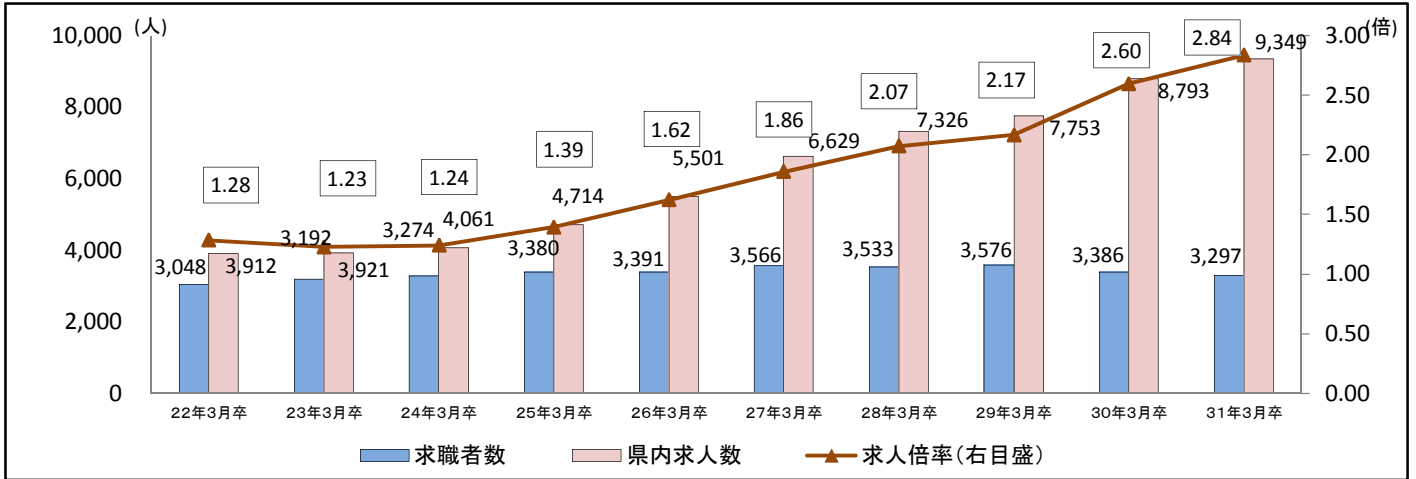
可能な範囲で把握した数字を取りまとめており、報告のない学生や連絡の取れない学生などは未定者として計上している。

②厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業者の就職内定状況調査(10月、12月、2月、4月(各月1日現在の年4回実施))」は抽出調査として実施しており、調査時点毎に、電話、面接等の方法により抽出した学生全員に対して学校を通じて内定状況を確認した結果であり、調査方法が異なることから、この調査結果と直接数値を比較できるものではない。

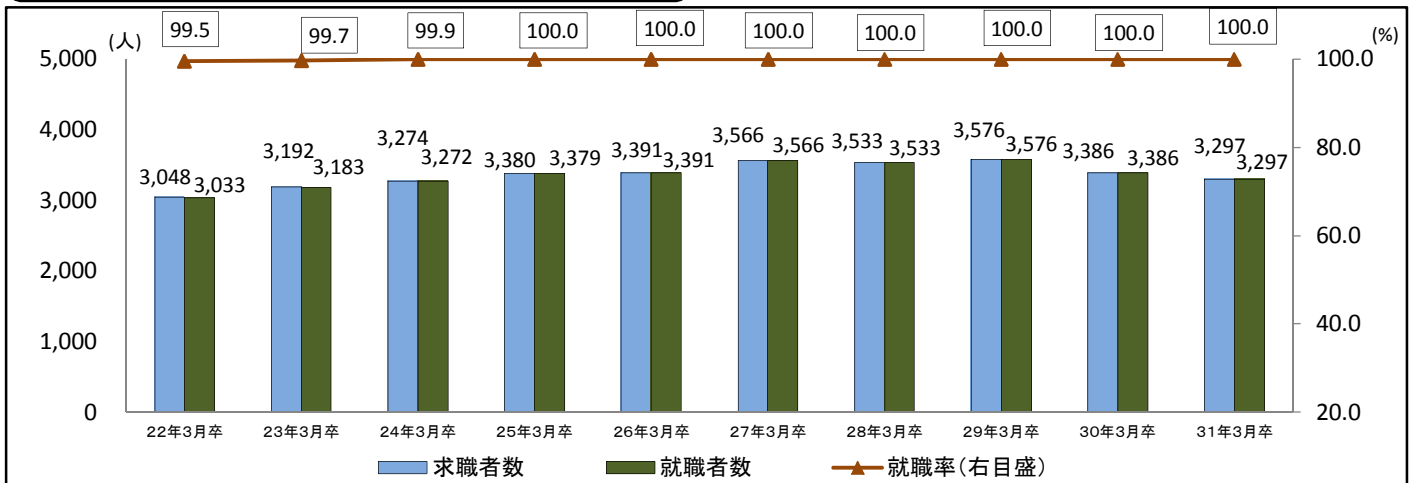
平成31年3月高等学校新規卒業者の職業紹介状況(6月末日現在)(最終)

新潟労働局職業安定課

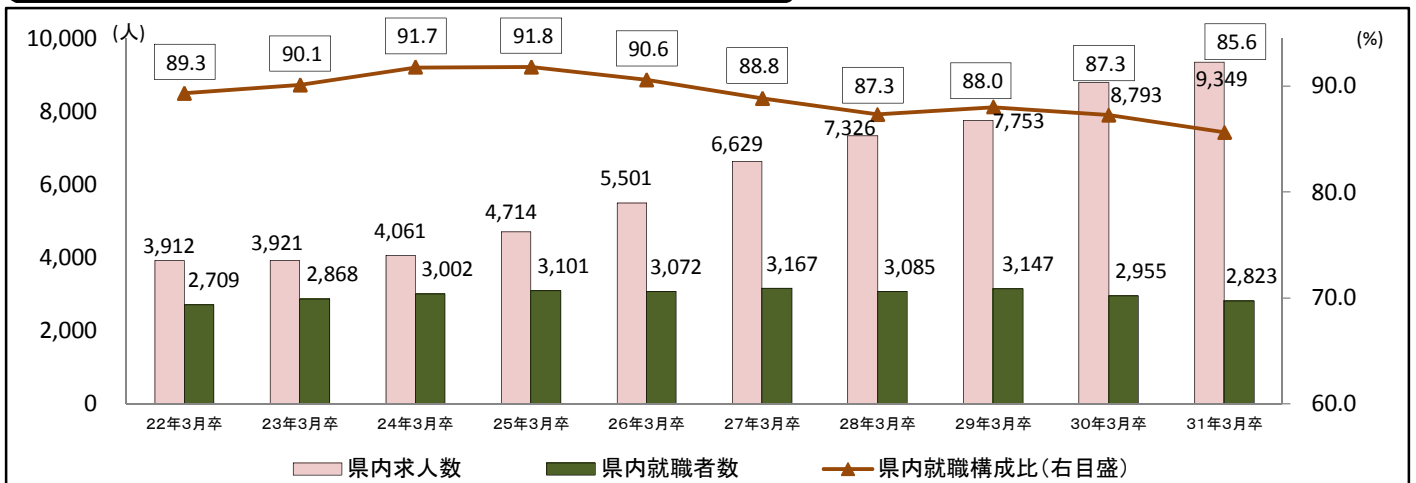
1 県内求人数・求職者数・求人倍率の推移



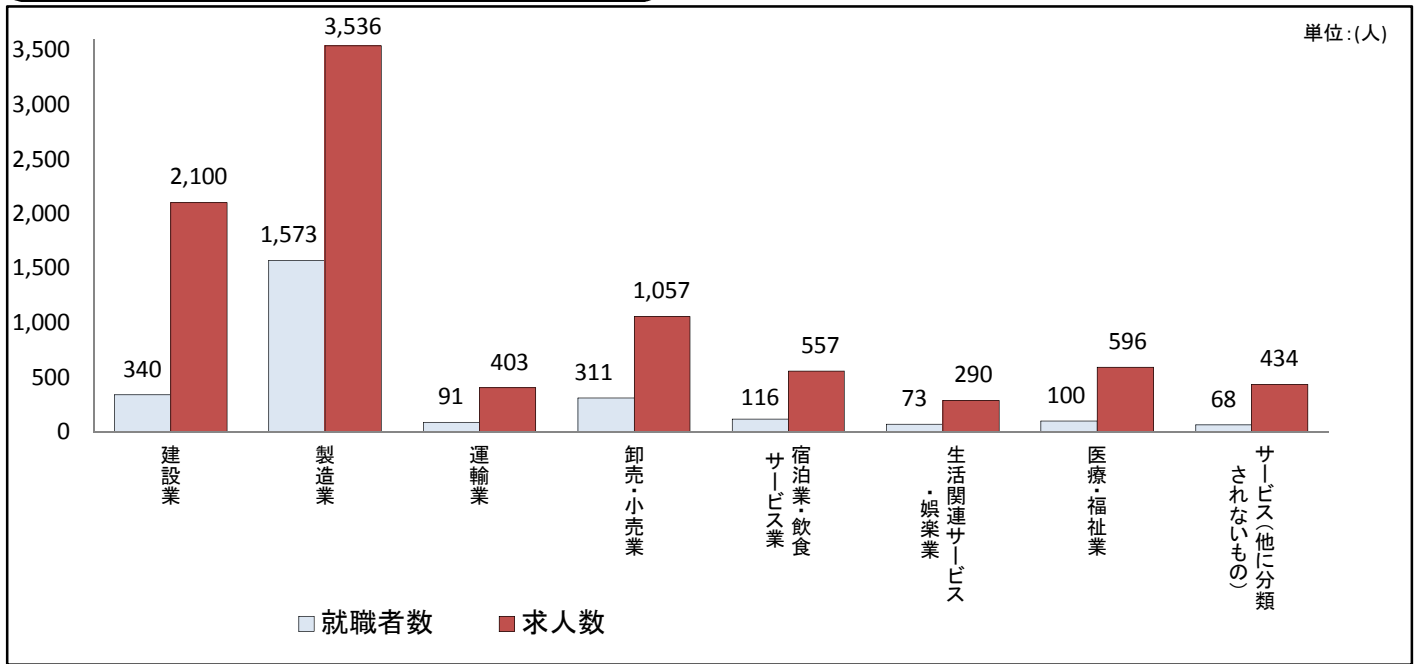
2 求職者数・就職者数・就職率の推移



3 県内求人数・県内就職者数・県内就職構成比の推移



4 産業別 県内求人数・県内就職者数



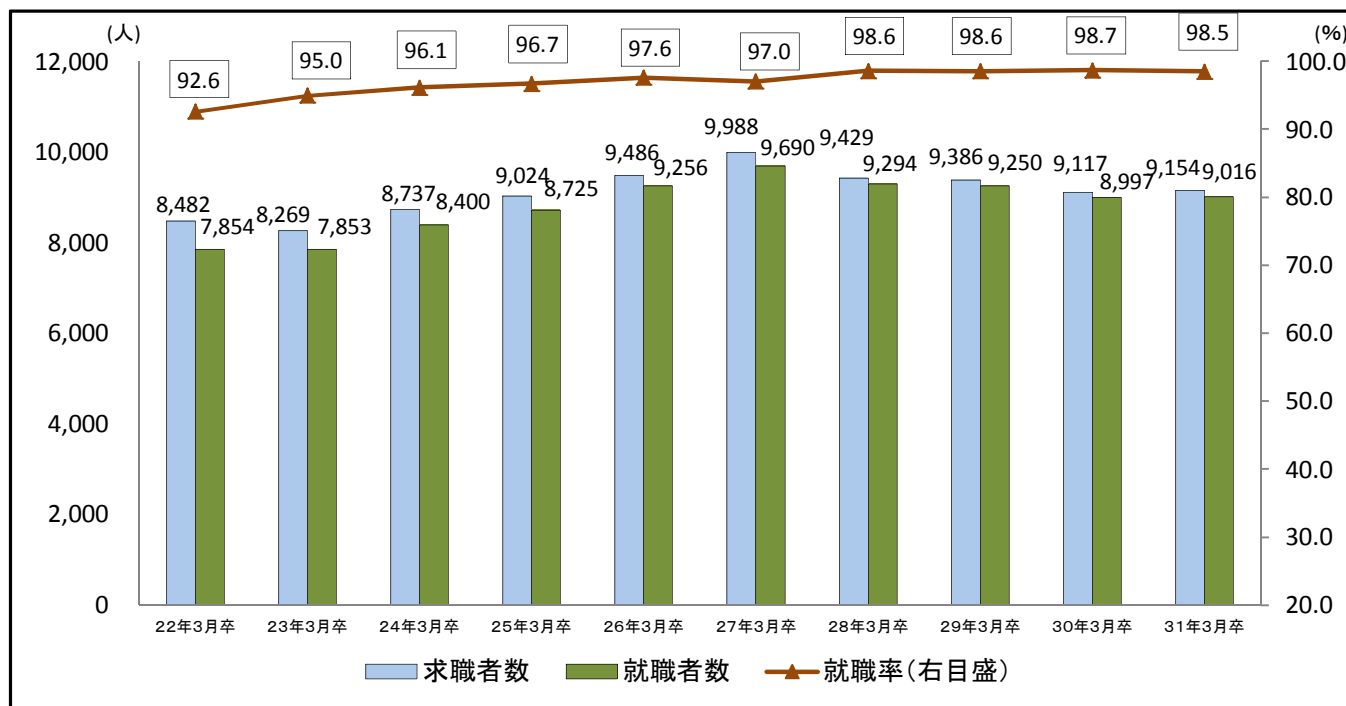
(参考) 産業別 県内求人数・県内就職者数

主な産業	県内求人数				県内就職者数			
	H31.3卒	H30.3卒	増減数	増減率	H31.3卒	H30.3卒	増減数	増減率
建設業	2,100	1,851	249	13.5	340	340	0	0.0
製造業	3,536	3,374	162	4.8	1,573	1,594	▲ 21	▲ 1.3
食料品 繊維工業 化学工業 金属製品 はん用機械器具 電子部品・デバイス・電子回路 電気機械器具	712	812	▲ 100	▲ 12.3	378	388	▲ 10	▲ 2.6
	140	153	▲ 13	▲ 8.5	39	37	2	5.4
	150	144	6	4.2	119	111	8	7.2
	526	479	47	9.8	181	192	▲ 11	▲ 5.7
	344	224	120	53.6	124	98	26	26.5
	339	322	17	5.3	164	152	12	7.9
	179	166	13	7.8	101	101	0	0.0
運輸業	403	347	56	16.1	91	96	▲ 5	▲ 5.2
卸売・小売業	1,057	1,077	▲ 20	▲ 1.9	311	336	▲ 25	▲ 7.4
宿泊業・飲食サービス業	557	587	▲ 30	▲ 5.1	116	143	▲ 27	▲ 18.9
生活関連サービス・娯楽業	290	272	18	6.6	73	84	▲ 11	▲ 13.1
医療・福祉業	596	583	13	2.2	100	114	▲ 14	▲ 12.3
サービス業(他に分類されないもの)	434	328	106	32.3	68	67	1	1.5
その他	376	374	2	0.5	151	181	▲ 30	▲ 16.6
合計	9,349	8,793	556	6.3	2,823	2,955	▲ 132	▲ 4.5

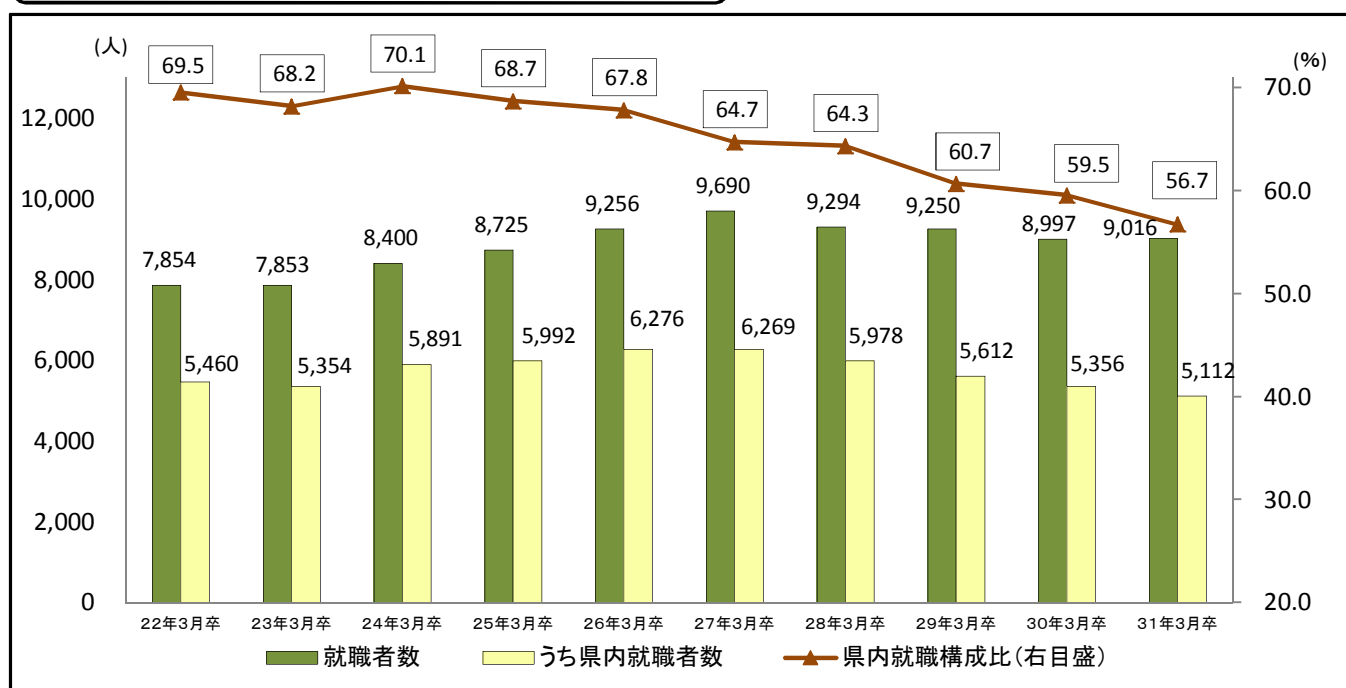
平成31年3月大学等新規卒業者の職業紹介状況(6月末日現在)(最終)

新潟労働局職業安定課

1 求職者数・就職者数・就職率の推移



2 県内就職者数・県内就職構成比の推移

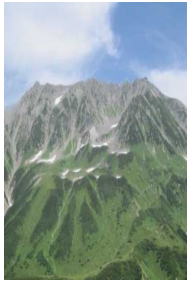


富山県の建設分野の労働力需給状況等

富 山 労 働 局

図表でみる 労働市場

元年8月



富山労働局

◎今月の特徴

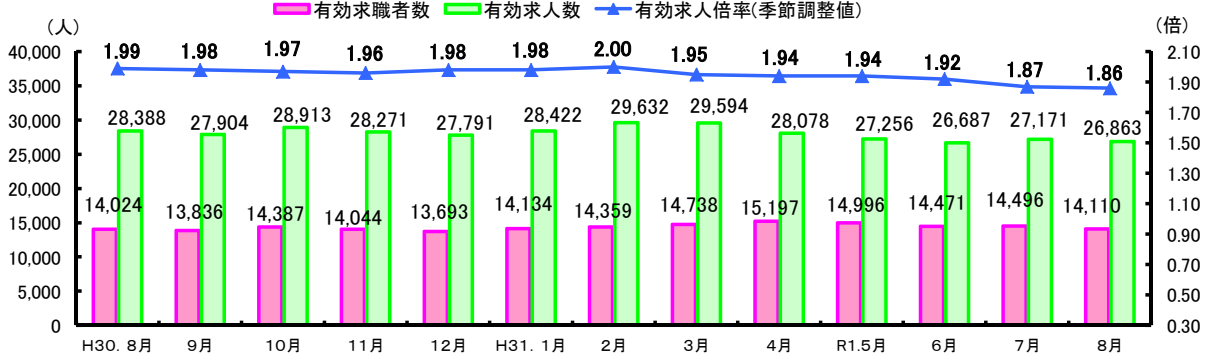
・有効求人倍率(季節調整値)は1.86倍となり、前月より0.01ポイント低下しました。また、正社員の有効求人倍率は1.53倍となり、前年同月より0.08ポイント低下しました。新規求職申込件数は前年同月比で減少し、有効求職者数は増加しました。新規求人数は前年同月比で減少し、有効求人数も減少しました。

雇用情勢は着実に改善している。
 ・新規求人数は、前年同月比で8.2%減少し、2ヶ月ぶり、月間有効求人数は5.4%減少し、6ヶ月連続となりました。
 ・新規求職申込件数は、前年同月比で9.6%減少し、3ヶ月ぶり、月間有効求職者数は0.6%増加し、2ヶ月連続となりました。

*全国の失業率は季節調整値。(資料出所:総務省統計局「労働力調査」)

年月	完全失業率		有効求人倍率(季節調整値)		正社員の有効求人倍率(原数値)		就職率		富山県の完全失業率(モデル推計値)	
	全国	富山県	全国	富山県	全国	富山県	全国	富山県	30年4~6月	31年4~6月
30年 8月	2.4%	1.99倍	1.63倍	1.61倍	1.13倍	1.13倍	42.3%	31.7%	30年4~6月	1.7%
元年 6月	2.3%	1.92倍	1.61倍	1.54倍	1.10倍	1.10倍	43.4%	34.9%	30年10~12月	1.7%
元年 7月	2.2%	1.87倍	1.59倍	1.51倍	1.12倍	1.12倍	42.0%	32.7%	31年1~3月	1.8%
元年 8月	2.2%	1.86倍	1.59倍	1.53倍	1.13倍	1.13倍	40.7%	31.1%	31年4~6月	1.7%

月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



職業紹介業務統計

(パートを含む、求人倍率は原数値)

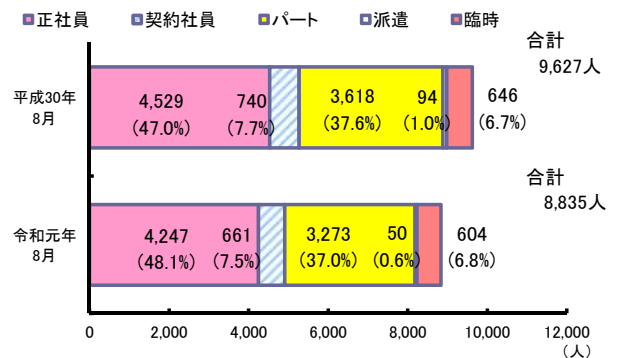
項目	安定所別	富山	高岡	魚津	砺波	氷見	滑川	県計	30年8月	前年同月比[%]
① 新規求職申込件数[件]		1,262	801	339	348	151	222	3,123	3,455	▲ 9.6
② 月間有効求職者数[人]		5,991	3,501	1,521	1,436	612	1,049	14,110	14,024	0.6
③ 新規求人数[人]		3,878	2,255	870	866	335	631	8,835	9,627	▲ 8.2
④ 月間有効求人数[人]		12,164	6,877	2,924	2,457	1,020	1,421	26,863	28,388	▲ 5.4
⑤ 紹介件数[件]		1,819	914	381	387	154	309	3,964	4,531	▲ 12.5
⑥ 就職件数[人]		451	312	159	151	82	116	1,271	1,462	▲ 13.1
就職率⑥/⑤×100[%]		35.7	39.0	46.9	43.4	54.3	52.3	40.7	42.3	▲ 1.6
求人倍率(原数値)	新規求人倍率③/①[倍]	3.07	2.82	2.57	2.49	2.22	2.84	2.83	2.79	0.04
	有効求人倍率④/②[倍]	2.03	1.96	1.92	1.71	1.67	1.35	1.90	2.02	▲ 0.12

産業別新規求人状況(パートを含む)

[単位:人]

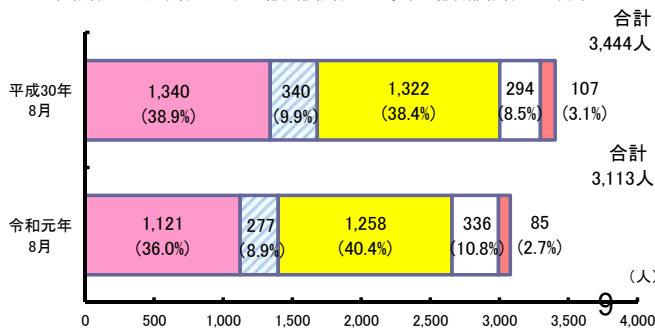
産業分類	年月	元年8月	元年7月	30年8月	前年同月比[%]
合計		8,835	10,495	9,627	▲ 8.2
建設業		932	1,152	959	▲ 2.8
製造業		1,365	1,556	1,874	▲ 27.2
食料品		126	235	240	▲ 47.5
繊維工業		66	77	88	▲ 25.0
化学工業		113	142	144	▲ 21.5
プラスチック製品		67	97	84	▲ 20.2
金属製品		263	255	311	▲ 15.4
はん用・生産用・業務用機械器具		223	280	297	▲ 24.9
電子部品・デバイス・電気機械器具		123	121	177	▲ 30.5
運輸、郵便業、情報通信業		599	706	595	0.7
卸売・小売業、宿泊業・飲食サービス		1,905	2,563	2,096	▲ 9.1
医療福祉、学術研究・専門・技術、生活関連、サービス業		3,401	3,901	3,531	▲ 3.7
その他		633	617	572	10.7

新規求人数の雇用形態別状況



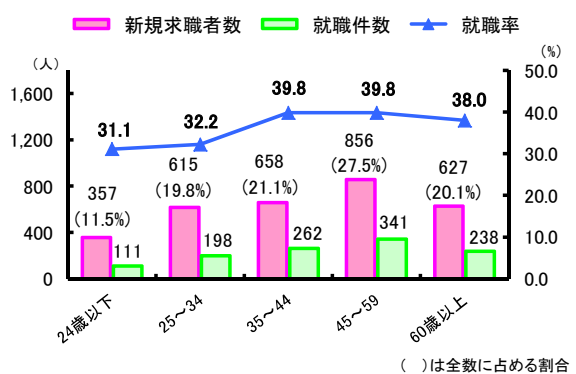
新規求職者(常用)の態様別状況

■在職者 ■無業者 ■自己都合離職者 ■事業主都合離職者 ■定年



年齢階層別求職・就職状況

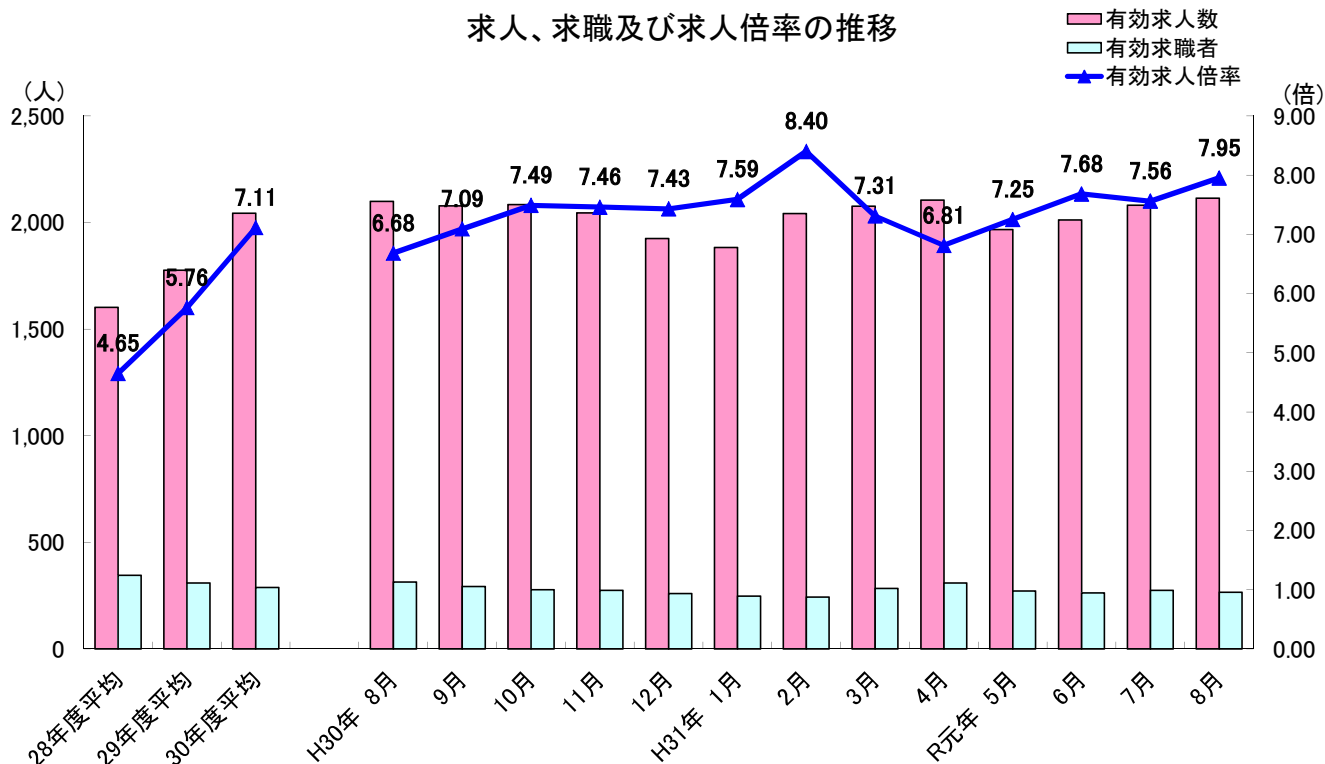
(常用・パートを含む)



()は全数に占める割合

【建設関係】求人、求職及び求人倍率の推移

富山労働局 職業安定部

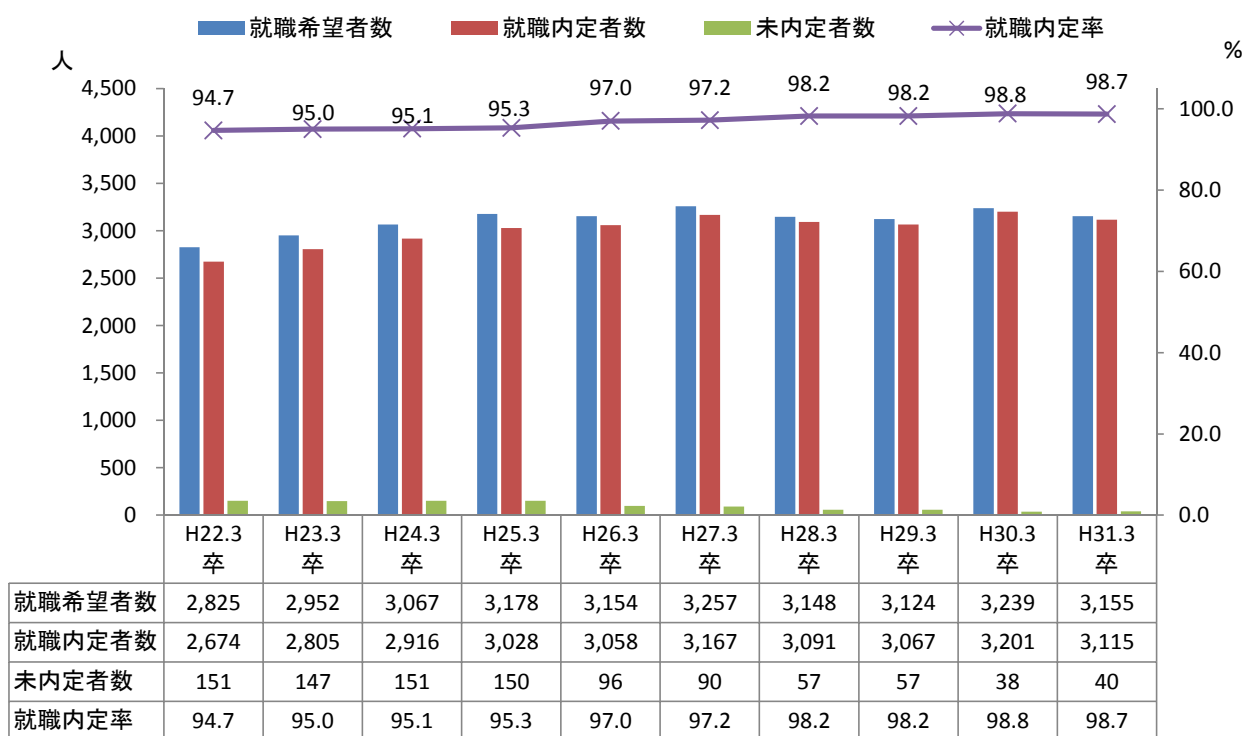


【常用】

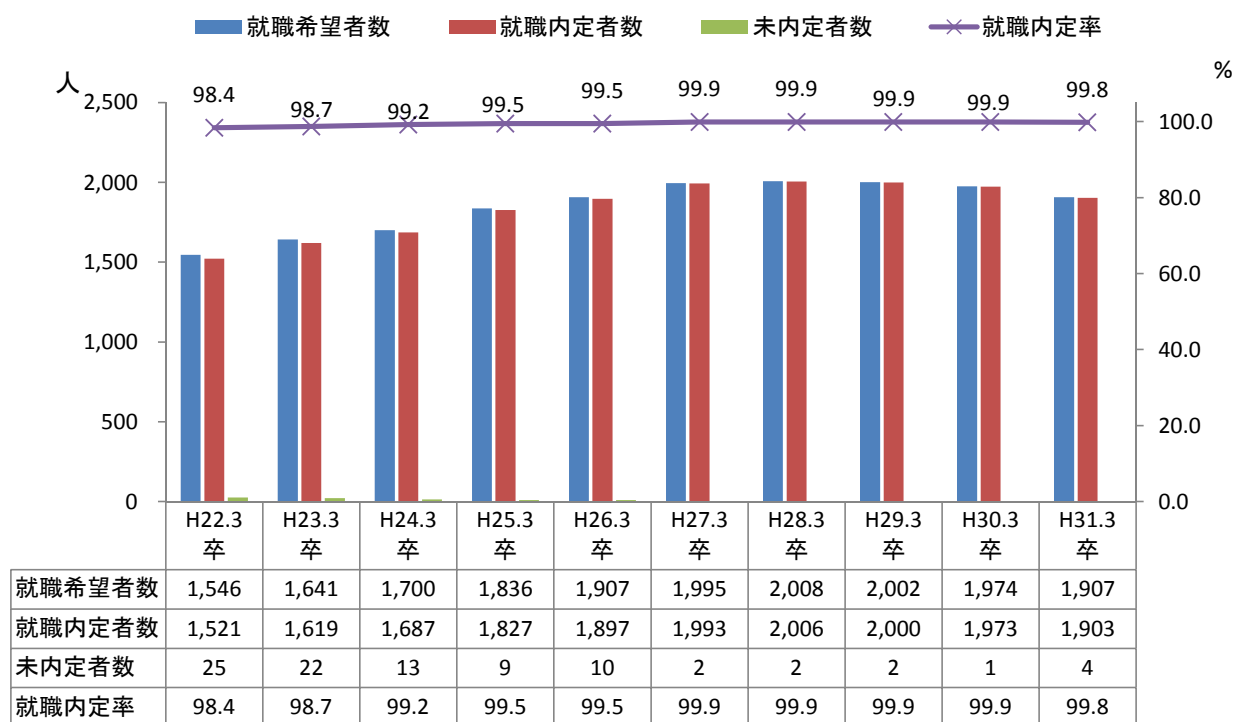
建設関係 09,70~73	有効求職者数			有効求人数			有効求人倍率			就職件数		
	計	フルタイム	パート	計	フルタイム	パート	計	フルタイム	パート	計	フルタイム	パート
28年度平均	344	303	41	1,602	1,574	28	4.65	5.19	0.68	48	47	1
29年度平均	308	268	40	1,776	1,742	34	5.76	6.50	0.84	45	43	2
30年度平均	288	247	41	2,043	1,991	52	7.11	8.06	1.28	43	41	2
H30年 8月	314	276	38	2,098	2,037	61	6.68	7.38	1.61	41	40	1
9月	293	251	42	2,078	2,024	54	7.09	8.06	1.29	44	44	0
10月	278	233	45	2,083	2,027	56	7.49	8.70	1.24	40	39	1
11月	274	237	37	2,044	1,993	51	7.46	8.41	1.38	46	45	1
12月	259	223	36	1,924	1,875	49	7.43	8.41	1.36	34	31	3
H31年 1月	248	211	37	1,882	1,832	50	7.59	8.68	1.35	30	29	1
2月	243	201	42	2,041	1,993	48	8.40	9.92	1.14	42	36	6
3月	284	243	41	2,076	2,018	58	7.31	8.30	1.41	45	44	1
4月	309	260	49	2,105	2,041	64	6.81	7.85	1.31	64	61	3
R元年 5月	271	224	47	1,966	1,906	60	7.25	8.51	1.28	44	44	0
6月	262	219	43	2,012	1,950	62	7.68	8.90	1.44	32	31	1
7月	275	236	39	2,080	2,023	57	7.56	8.57	1.46	43	41	2
8月	266	230	36	2,114	2,057	57	7.95	8.94	1.58	32	30	2

※ 建設関係は、09建築・土木技術者等、70建設躯体工事の職業、71建設の職業、72電気工事の職業、73土木の職業の合計
 ※ 年度平均は、四捨五入の関係から、一般とパートの計と一致しないことがある。

過去10年【大学等卒業予定者】の内定状況(3月末日現在)



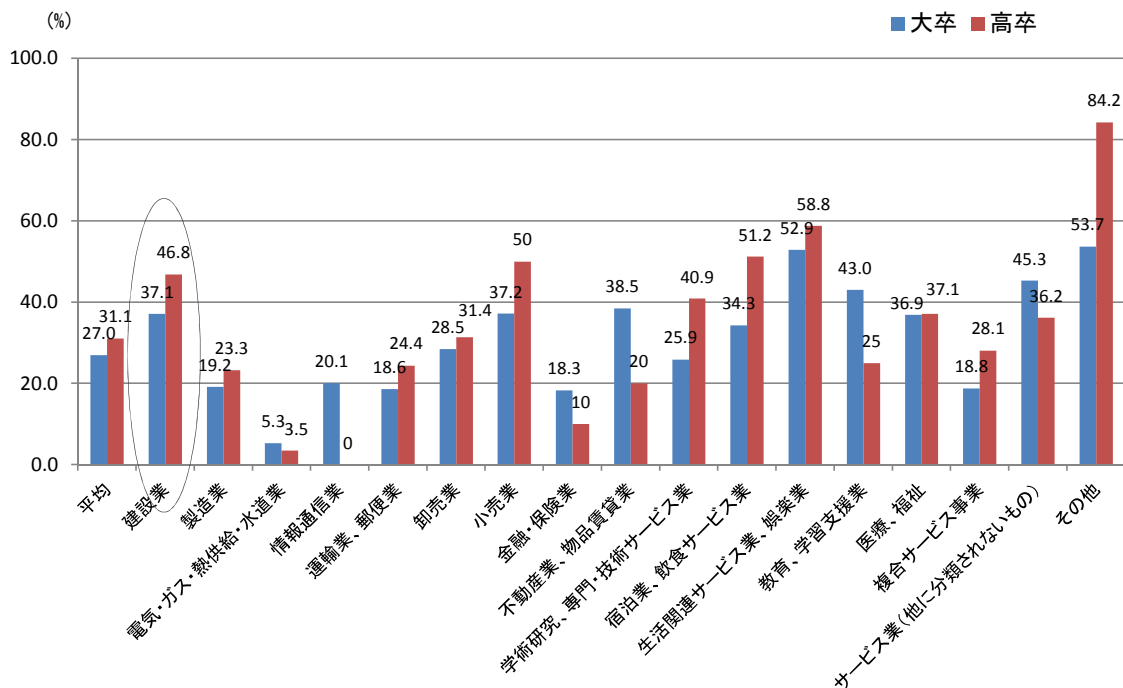
過去10年【高等学校卒業予定者】の内定状況(3月末日現在)



平成31年3月高校卒業予定者の求人数・充足数(産業別)
富山県/平成31年3月末現在

主な産業	県内求人数				充足数				充足率	
	H31.3卒	H30.3卒	増減数	増減率	H31.3卒	H30.3卒	増減数	増減率	H31.3卒	H30.3卒
建設業	930	921	▲ 9	1.0%	181	201	▲ 20	-10.0%	19.5%	21.8%
製造業	2,525	2,282	▲ 243	10.6%	1,085	1,106	▲ 21	-1.9%	43.0%	48.5%
運輸業	149	185	▲ 36	-19.5%	49	53	▲ 4	-7.5%	32.9%	28.6%
卸売・小売業	520	457	▲ 63	13.8%	106	90	▲ 16	17.8%	20.4%	19.7%
宿泊業・飲食サービス業	202	225	▲ 23	-10.2%	45	40	▲ 5	12.5%	22.3%	17.8%
生活関連サービス・娯楽業	179	175	▲ 4	2.3%	21	21	0	0.0%	11.7%	12.0%
医療・福祉業	403	387	▲ 16	4.1%	57	48	▲ 9	18.8%	14.1%	12.4%
サービス業 (他に分類されないもの)	228	239	▲ 11	-4.6%	50	51	▲ 1	-2.0%	21.9%	21.3%
その他	278	275	▲ 3	1.1%	140	128	▲ 12	9.4%	50.4%	46.5%
合計	5,414	5,146	▲ 268	5.2%	1,734	1,738	▲ 4	-0.2%	32.0%	33.8%

平成27年3月新規学卒者の就職後3年以内の離職率(産業別)/富山県



※ 離職率は各年後とも、最新(3年目まで出ていれば3年目、2年目まで出ていれば2年目)の就職者数を分母として算出。したがって、1年前に算出した1年後離職率と、今年算出した1年後離職率は分母が異なるため、数値も変化する。(※全国の数値の算出方法と同様)

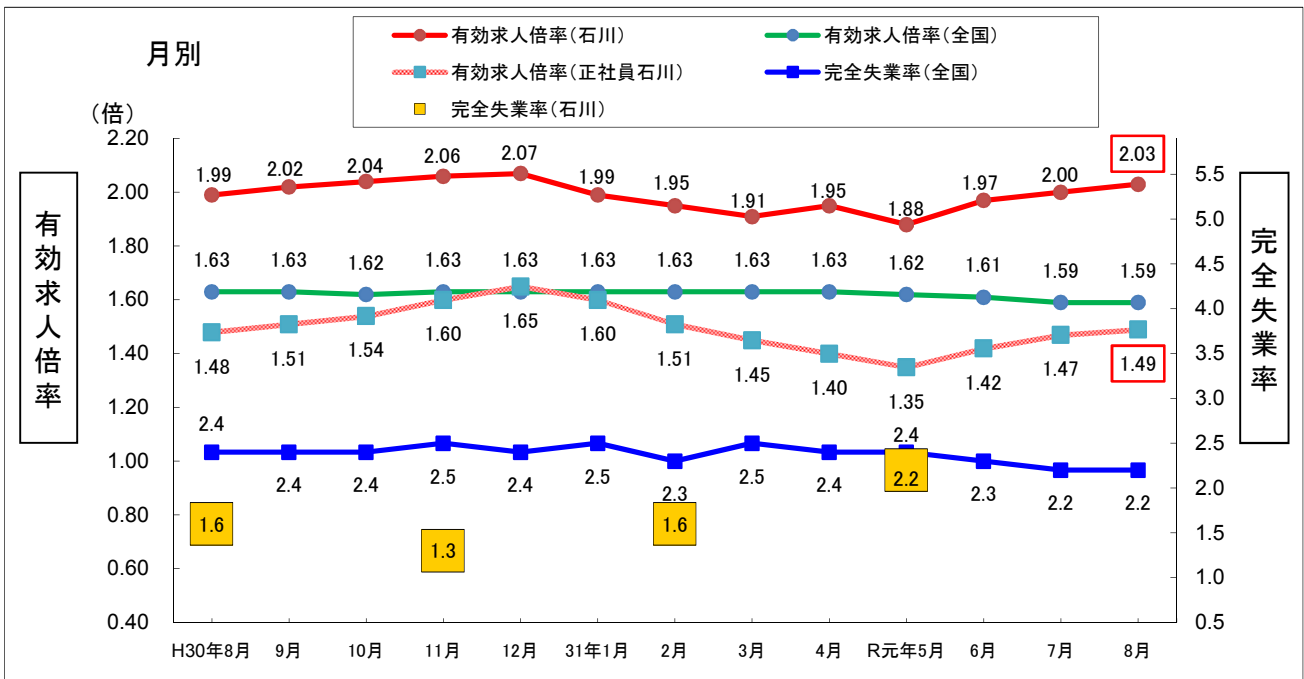
石川県の建設分野の労働力需給状況等

石 川 労 働 局

石川県の建設分野の労働力需給状況等

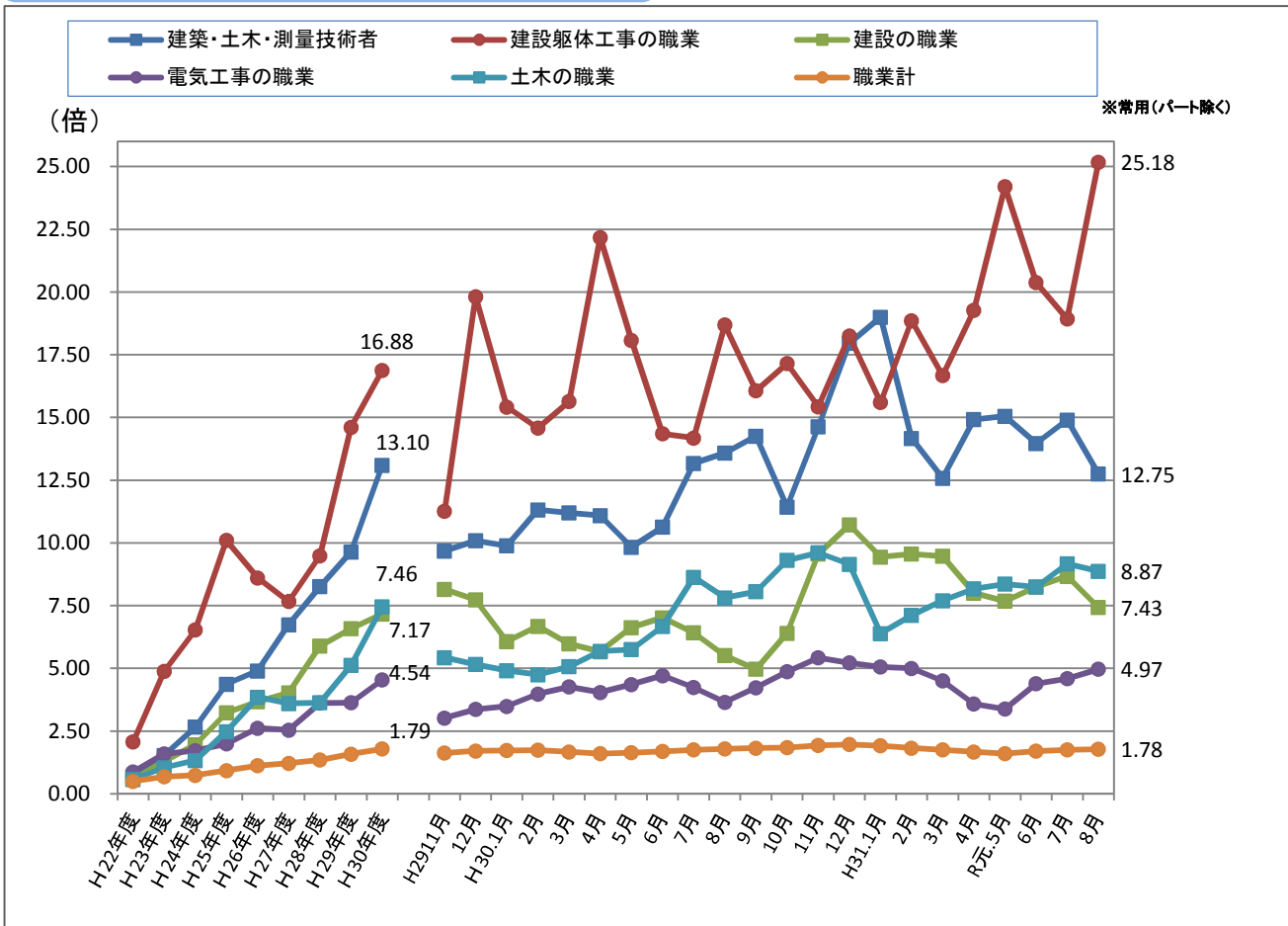
1. 有効求人倍率・失業率の推移(令和元年8月時点)

令和元年10月 石川労働局



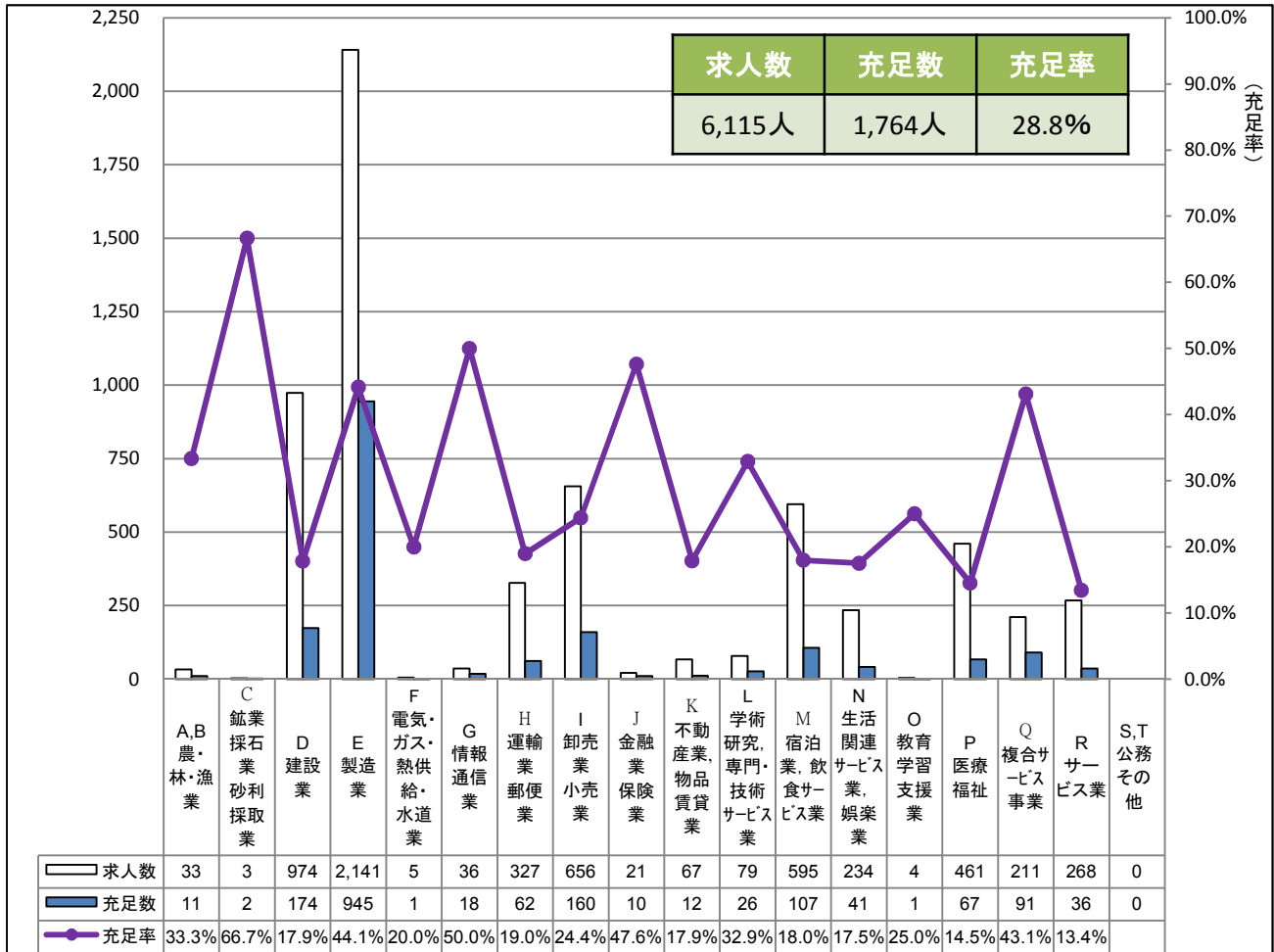
※出典 職業安定業務統計

2. 建設分野の職業別求人倍率(令和元年8月内容)



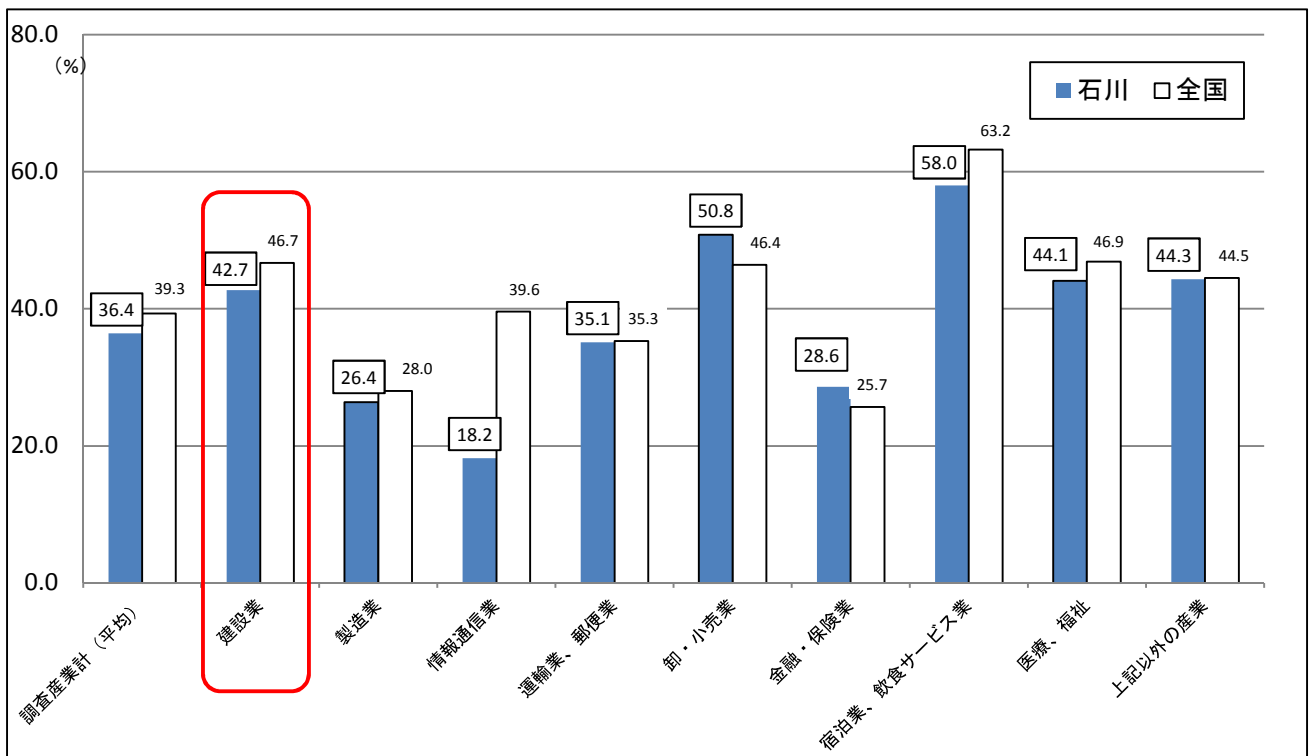
※出典 職業安定業務統計

3.平成31年3月新規高等学校卒業予定者に係る求人充足状況（平成31年3月末現在）

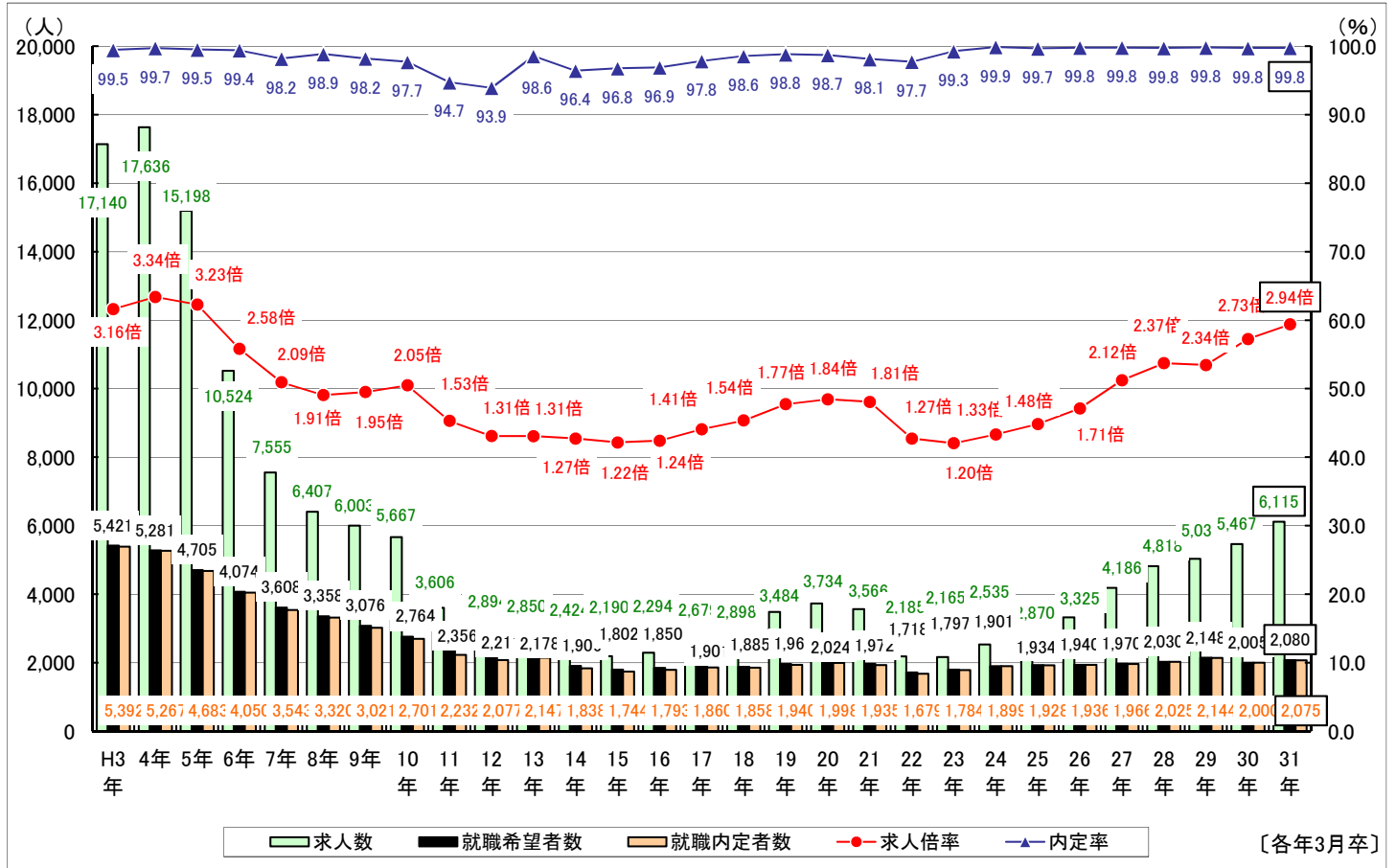


※出典 石川労働局調べ

4.平成27年3月新規高校卒業生 卒業3年後の離職率＜全国と石川比較（主な産業）＞

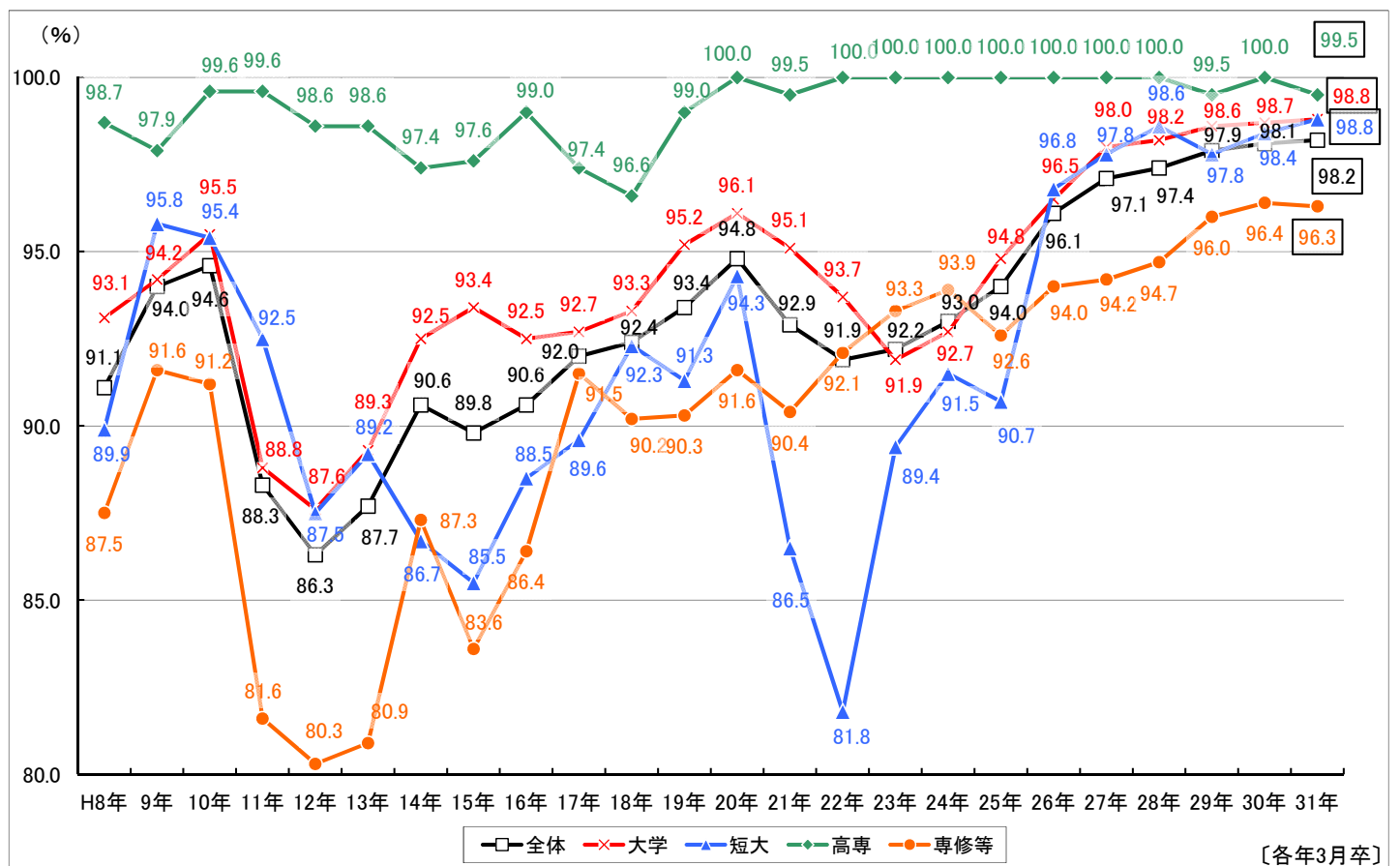


5. 新規高等学校卒業者の求人・求職・就職内定状況の推移（各年3月末時点）



出典 石川労働局調べ

6. 新規大学等卒業者の就職内定率の推移（各年3月末時点）



出典 石川労働局調べ

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

① 令和元年度の部会活動総括

1. 令和元年度建設界の担い手確保・育成に
関する取り組みについて…………… P1
2. 各部会の取り組み報告…………… P4

R元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

- 令和元年年6月～7月に第1回各県（新潟、富山、石川）部会を開催。
- 昨年度の協議会で出された課題に関する議論や、今年度に予定している活動や新たな取り組みについて情報を共有し、現状の課題等に関する意見交換を行った。

令和元年度：第1回県部会開催概要

【新潟県部会】令和元年6月26日（水）10:00～12:00

【富山県部会】令和元年7月18日（木）10:00～11:30

【石川県部会】令和元年7月17日（水）13:30～15:00

【開催地】北陸地方整備局、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所

新潟県部会開催状況



富山県部会開催状況

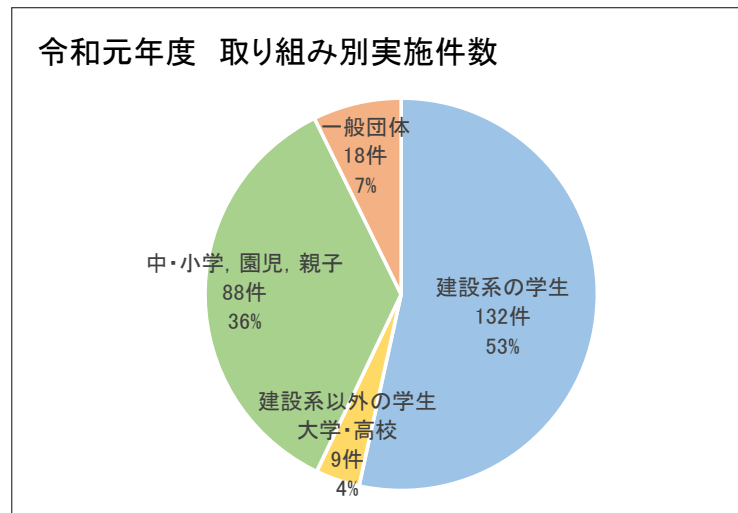


R元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

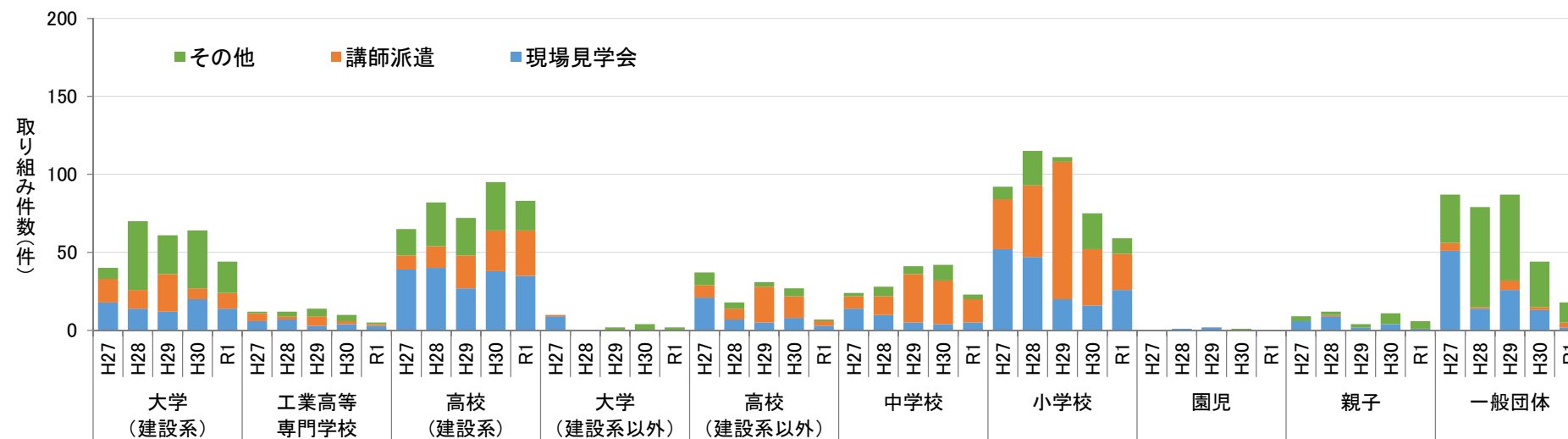
- ・令和元年度において、各機関の活動数は247件であり、そのうちの58%が他機関・団体と連携し行われている。
- ・対象者別では、建設系の学生を対象とした取り組みが最も多く実施されており、全体の53%を占めている。

※令和元年度の活動件数は、令和元年10月時点における各機関からの報告に基づき集計している。

	建設系の学生対象	建設系の学生以外を対象			合計	各機関で連携・合同で取り組んだ件数
		大学 高校	中・小学 園児・親子	一般 団体		
H27年度	117 (31%)	47 (13%)	125 (33%)	87 (23%)	376 (100%)	164 (44%)
H28年度	164 (39%)	18 (4%)	156 (37%)	79 (19%)	417 (100%)	171 (41%)
H29年度	147 (35%)	33 (8%)	158 (37%)	87 (20%)	425 (100%)	146 (34%)
H30年度	169 (45%)	31 (8%)	129 (35%)	44 (12%)	373 (100%)	201 (54%)
R元年度	132 (53%)	9 (4%)	88 (36%)	18 (7%)	247 (100%)	143 (58%)



令和元年度 対象別取り組み件数



R元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

【留意事項】

- ・本資料は、各機関・団体で、対象毎にどのような取り組みを行ったのか、幅広く事例を集め、各機関・団体が次年度以降の取り組みを考えるうえでの参考とすることを目的に整理したものです。
- ・実施件数は概ねの傾向を把握するために集計したものです。（※各機関・団体の判断により取り組みを分類し、報告頂いているため、分類の不整合を含みます。）

	平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度				
	現場見学会	講師派遣	その他	合計	現場見学会	講師派遣	その他	合計	現場見学会	講師派遣	その他	合計	現場見学会	講師派遣	その他	合計	現場見学会	講師派遣	その他	合計	
大学(建設系)	18	15	7	40	14	12	44	70	12	24	25	61	20	7	37	64	14	10	20	44	
工業高等専門学校	6	5	1	12	7	2	3	12	3	6	5	14	4	2	4	10	3	1	1	5	
高校(建設系)	39	9	17	65	40	14	28	82	27	21	24	72	38	26	31	95	35	26	19	83	
大学(建設系以外)	9	1	0	10	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4	4	0	0	2	2	
高校(建設系以外)	21	8	8	37	7	7	4	18	5	23	3	31	8	14	5	27	3	3	1	7	
中学校	14	8	2	24	10	12	6	28	5	31	5	41	4	28	10	42	5	15	3	23	
小学校	52	32	8	92	47	46	22	115	20	88	3	111	16	36	23	75	26	23	10	59	
園児	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	
親子	6	0	3	9	9	1	2	12	2	0	2	4	4	0	7	11	1	0	5	6	
一般団体	51	5	31	87	14	1	64	79	26	6	55	87	13	2	29	44	2	3	13	18	
合計	一般団体を含む	216	83	77	376	149	95	173	417	102	199	124	425	107	115	151	373	89	84	74	247
	一般団体を除く	165	78	46	289	135	94	109	338	76	193	69	338	94	113	122	329	87	81	61	229

※令和元年度の活動件数は、令和元年10月時点における各機関からの報告に基づき集計している。

- 北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進することを目的として、平成26年10月3日 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会を設立。
- 令和元年度の活動を推進するため、取り組みの展開について検討。

開催概要

【新潟県部会】 令和元年6月26日（水）10:00～12:00

• 〔会場〕 北陸地方整備局 4F会議室

• 〔出席機関〕

〔行政〕 北陸地整、新潟労働局、新潟県教育委員会、新潟市

〔建設産業〕 日建連北陸支部、新潟県建設業協会、建設ITカンパニー協会北陸支部、新潟県測量設計業協会、新潟県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

〔教育〕 長岡工業高等専門学校、塩沢商工高校、中条高校

新潟県部会開催状況



検討結果

令和元年度は、昨年度に引き続き合同企業セミナーを実施するなど、各大学・建設系高校への取り組みはもちろんのこと、小中学生などの将来の担い手に対しても、建設業の魅力を発信するなどの取り組みを引き続き進める。また、普通科高校の進学組へのPRの仕方についても議論していく。

意見等

- ①今年度の本会議は10～11月頃、県部会は11～12月頃に実施することで了解。
- ②令和元年度は引き続き各大学、建設系高校、小中学生等へ建設業の魅力を発信していく。
- ③県部会のイベントとして、合同企業セミナーは昨年度の同様に実施する。また、全国産業教育フェアには、出来る範囲で協力する形とする。
- ④普通科高校へは進学組も含め建設界のPRが必要。
普通科高校生徒の入職データは県教育委員会等の協力を得る。



塩沢商工高校 中川校長

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 (R1.7.18) 開催概要

- 今年度第1回目となる**富山県部会を令和元年7月18日(木)に開催**。昨年度の協議会で出された課題を議論し、本年度の体制・活動予定等について情報を共有した。
- 意見交換では、**実際の体験を含めたPRや、小中学生などの将来の担い手**に対して、さらに**普通科高校などの進学組へのPRの重要性**等が議論された。
- また、**学生や生徒の進路に影響を与える保護者への建設業界の魅力発信の重要性**が議論された。
- R1も引続き、**県内産学官の関係者の連携のもと活動を進めていくことで合意**。

開催概要

日時 令和元年7月18日(木) 10:00~11:30

会場 富山河川国道事務所 3F大会議室

構成機関(順不同)

【行政】北陸地整建政部/富山河川国道事務所、富山労働局、富山県土木部/教育委員会

【教育】富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校、南砺福野高校

【業界】日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

【オブ】黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所、伏木富山港湾事務所

会員からの主な発言

- ・現場見学の際に、実際に就労する若手技術者からの話には効果がある。できれば「起床から就寝まで」「休日の過ごし方」などの技術屋さんの一日を話してほしい。
- ・保護者には未だ建設業界が「3K」と認識している。払拭すべき。
- ・建設関係に対する魅力が上がってきている。今後も引き続きPRが必要。また、体験型のPRが有効。
- ・就労確保のため、賃金向上を建設産業全体で考えていかなければならない。
- ・本協議会を開催することを効果測定する必要がある。そうすればさらに盛り上がるのでは。

開催状況



富山新聞 (23 面)

令和元年7月19日(金) 朝刊

建設業の担い手確保策を考える
富山で協議会県部会
北陸建設界の担い手確保
・育成推進協議会県部会は
18日、富山市の国土交通省

富山河川国道事務所で開かれ、県内の建設業者や行政機関、土木系学科を持つ高校の担当者らが若者に建設業の魅力を伝える方法を考えた。
大学生や高専生が夏休み

となる7、9月に市民を対象とした現場説明会を開くほか、小学校や高校での出前講座、土木事業を紹介する冊子の県内学校への配布など、今年度の事業計画を報告した。

建設工業新聞 (5 面)

令和元年7月19日(金) 朝刊



北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会(部会長・石井宏幸北陸地方整備局富山河川国道事務所長)が18日、

同事務所で開催され、19年度の体制や活動予定などを確認した。写真。冒頭、あいさつに立った石井部会長が「北陸地方整備局の19年度政策として、若手・女性技術者の評価や建設現場の週休2日の推進など、品質確保や担い手確保・育成の取り組み、iConstructionなどより一層推進していく。今協議会でも引き続き産学官の連携のもと、建設

産学官連携し魅力発信を

担い手確保・育成推進協議会

県部会開く

界の持つ魅力を発信していくことで好印象を醸成し、不足する担い手への

対応を図っていききたい」との考えを示した。議事では、北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会および富山県部会の18年度の取り組みの報告、富山県部会の19年度の活動予定の説明があった。

R元年度 建設界の担い手確保・育成推進協議会【第一回石川県部会】開催報告

- 7月17日、産学官が連携の「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【第1回石川県部会】」を開催し、各機関による今年度計画されている現場見学会等の活動予定について紹介、さらに現状の課題や協議会として今年度の新たな取り組み等に関する意見交換を行いました。
- 参加機関からは、「学生が現場見学会等を通じて意識がどのように変化するか把握し、今後の取り組みにフィードバック」「女性をターゲットにした取り組みも必要」「離職については中堅社員の意識が問題」といった様々な課題、意見が寄せられました。

開催概要

【日時】令和元年7月17日（水）13:30～15:00

【開催地】金沢河川国道事務所 会議室

【構成機関】

【行政】北陸地整建政部、金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部、石川県教育委員会

【建設産業】日建連北陸支部、石川県建設業協会、道建協北陸支部、建設コンサルツ協会北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質業協会

【教育】金沢大学、金沢工業大学、石川県立大学、石川高専、金沢市工高、石川県立羽咋工高、小松工高、翠星高校

会議の主な発言要旨

- ◆ 就職する前の学生について、現場見学会等の取り組みを通じて意識の変化をアンケート調査により把握し、今後の取り組み、活動の方針にフィードバックさせてはどうか。
- ◆ 若手とのコミュニケーションややりがいを高めることが求められている。
- ◆ 女性をターゲットにしたアピールや魅力を伝える取り組みも必要。若手アンケートでも、女性を対象とすれば、男女の違いや活躍の場は同じようにあるという実態が分かるのではないか。
- ◆ 昨年実施した若手アンケートは、我々が日頃感じていることが結果に出ている。離職については、企業のトップの方は理解されているが、中堅の方と若手間の人間関係の問題が大きい。業界全体で離職が少なくなるよう、意識を変えてもらう必要がある。学生は小学生の頃から叱られたことがなく、叱られてすぐに辞める。叱られながら働いてきた中堅の方には理解できないようである。

開催状況



令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

② 活動事例の紹介

1. 新潟県部会…………… P1～16
2. 富山県部会…………… P17～27
3. 石川県部会…………… P28～35
4. けんせつフェアin富山2019開催報告…………… P36～40

令和元年度
建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

令和元年度の活動事例紹介
【新潟県部会】

【担い手確保】新潟地区の小学生による親子工事見学会

(一社)日本建設業連合会北陸支部

- ・北陸地方において建設界が担う役割や目的、その魅力について理解を深めるため、7月30日(火)に新潟地区の小学生高学年を対象に、親子工事見学会を開催。
- ・普段見られない建設現場、シールドマシーンなどを見学し、公共インフラの役割と建設技術の水準の高さなどを知ってもらう。

開催概要

令和元年7月30日(火) 9:00~12:00

〈見学場所〉

新潟駅付近連続立体交差事業

坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事

〈参加者〉17組43名(小学生26名、保護者17名)

見学会の感想

- ・普段、目にすることができないところで大事な仕事をしていている人たちがいることを子供たちが実感してくれて良かった。
- ・子供が鉄道好きで応募しましたが、下水道工事の見学もできて親子で楽しめました。
- ・普段見ることができない現場を見学して貴重な体験をさせてもらった。
- ・しっかりと熱中症対策をされていて感心した。

今後に向けて

- ・大多数の方が「今後もこのような見学会があった方が良い」との回答がありました。現場を見学してそれぞれが印象に残るよう、スケール観のあるダムや橋などの現場見学会を計画し、次世代の担い手確保に努めていきたい。



新潟駅付近連続立体交差事業



坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事

【担い手確保】長岡地区の小学生による親子工事見学会

(一社)日本建設業連合会北陸支部

- ・北陸地方において建設界が担う役割や目的、その魅力について理解を深めるため、7月29日(月)に長岡地区の小学生高学年を対象に、親子工事見学会を開催。
- ・普段見られないダム建設現場、トンネル工事などを見学し、公共インフラの役割と建設技術の水準の高さなどを知ってもらう。

開催概要

令和元年7月29日(月) 12:00~17:00

〈見学場所〉

鵜川ダム本体建設工事

国道8号柏崎トンネル(山岳部)工事

〈参加者〉6組17名(小学生11名、保護者6名)

見学会の感想

- ・長い年月をかけてたくさんの方の技術や苦労のおかげで私たちの生活が便利で安全に安心して暮らせることがわかりました。
- ・子供が質問していたので興味があるのだと感じました。
- ・普段なかなか経験できないことなので工事見学会に参加できて良かった。
- ・しっかりと熱中症対策をされていて感心した。

今後に向けて

- ・大多数の方が「今後もこのような見学会があった方が良い」との回答がありました。現場を見学してそれぞれが印象に残るよう、スケール観のあるダムや橋などの現場見学会を計画し、次世代の担い手確保に努めていきたい。



鵜川ダム本体建設工事



国道8号柏崎トンネル(山岳部)工事

【担い手確保】地質調査実習授業(塩沢商工高等学校)

(一社)新潟県地質調査業協会

・現場代理人としての必要な知識・技術として地質調査に関する調査方法及び結果の利用方法を知識として習得させ、卒業後の2級土木施工管理技士学科試験の受験意欲の醸成と離職防止及び就職後、即戦力となり得る人材育成につなげる。

開催概要

令和元年9月12日(木) 12:45~15:30

〈授業内容〉

簡易なサウンディング試験の体験

ボーリングコアの観察、試験結果の取りまとめ

〈対象者〉3年生 15名



屋外での実習授業

事業実施の効果(平成30年度)

・実習授業対象者15名のうち、土木施工管理技士学科試験に4名が合格。

・合格者からは「試験科目であった地質調査の実習授業が非常に役に立った」との感想を聞いている。



教室内

今後に向けて

・学校側から要請がある間は、毎年継続していきたい。



建設業界！魅力発見ツアー

開催日

2019年7月19日(金)



実際の建設現場見学や先輩社員からの話を通じて、建設業の魅力を発見してみませんか？
建設業界はどんな仕事をしているのか？やりがいがあるのか？等々 皆さんの参加をお待ちしています！



＜スケジュール（昨年の例）＞

13:30 集合

13:40 現場見学へ出発（バス移動）
土木工事・建築工事の2現場を見学
現場にて建設機械搭乗、鉄筋結束作業、
ドローン操作体験

15:40 村上地域振興局にてビデオ上映等
プレゼンテーション、先輩社員からの
魅力発信スピーチ、質疑応答等

16:30 閉会

高校生を対象（男女共）に開催

- ・民間企業への就職希望者・公務員就職希望者
- ・大学等への進学希望者 …… どなたでも
広く進路選択に役立つ内容です。ぜひご参加ください！

主催 村上公共職業安定所、新潟県村上地域振興局、村上市

後援 新潟県建設業協会村上支部、村上市建設業協会、関川村建設業協会

申込期限 月 日()まで

申込先:

「職人さんになってみよう」新潟建専連「ものづくり広場2019」に出展 【建政部】

- 令和元年8月24日(土)、子供たちに職人の仕事について理解を深めてもらおうと、新潟県建設専門工事業団体連合会が新潟県立新潟テクノスクールで開かれた「ものづくり広場2019」に体験ブースを出展
- 新潟県左官業協同組合による「壁塗り体験」、新潟県鉄筋協同組合による「鉄筋結束体験」、新潟県室内装飾事業協同組合による「クロス・床仕上げ体験」のそれぞれのブースで子供たちが職人技に挑戦

壁塗り体験



子供たちが「こて」と「こて板」を持ち、珪藻(けいそう)土を使った壁塗りに挑戦(約30名が体験)

鉄筋結束体験



ハッカーというくぎ抜きに似た器具や自動結束機を使って鉄筋同士の交差部に針金を巻き付けて結束する作業を体験(約80名が体験)

クロス・床仕上げ体験



塩化ビニール製のフロアタイルを所定の大きさに切り取って床に見立てたベニヤ板に貼る作業を体験(約80名が体験)

【担い手確保】わくわくお天気・防災教室

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

開催場所：燕市民交流センター

開催日時：令和元年8月2日（金） 14:00～16:00

講師 山神 明理 参加生徒37名 保護者10名

・気象変動に起因する災害が多発しており、新潟県内においてもいわゆるゲリラ豪雨が多発するなど気象変動に伴って洪水や土砂災害の危険性が高まっていることから、燕市近隣住民を対象に地域住民とその子供たちに水防災意識の向上と知識の普及啓発を目的に開催

教室の様子



お天気・防災クイズの様子



大河津分水路の説明



綿を使った雲の図鑑の工作

新聞にも掲載されました

令和元年
8月6日
新潟日報13面

夏休み中の子どもの怪しい「わくわくお天気・防災教室」が2日、燕市民交流センターで開かれた。参加者はクイズや実験を通して夏の仕組みや気象のしくみを学んだ。

国土交通省信濃川河川事務所などによる実行委員会の主催。市内外の3、4年生約40人が参加した。気象専門士・防災士の資格を持つお天気キッズの山神明理さんや、信濃川河川事務所の職員らが講師を務めた。

山神さんは「夏は晴れて暑い日が多く、冬は雪が多い」という新

天気の仕事みに納得 燕で子ども向け教室

夏の天気の特徴を紹介、「一人用の傘は1時間当たり10分の雨が降ると、50分の重さになる」との話に子どもたちは驚いていた。

「避難指示」と「避難勧告」の緊急度を問うクイズや、ペットボトルにエタノールを入れて雲を発生させる実験もあり、子どもたちは楽しみながら防災や天気の知識を学んだ。

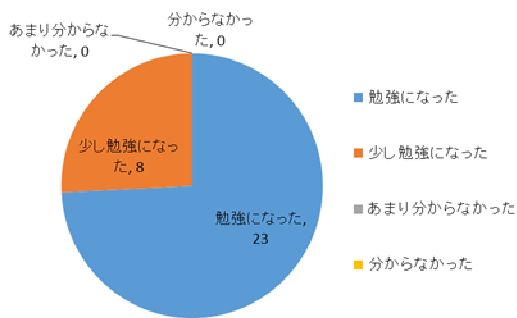
熱心なメモを取っていた吉田小4年の池田千穂さん（右）は「新潟は南風が吹くと暑くなりやすいと分かった。大河津分水路の役割も知れてよかった」と話した。

万が一に備えて



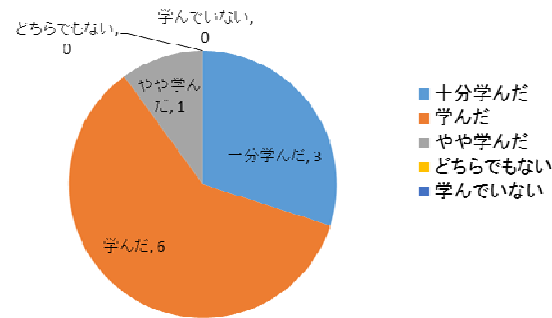
子どもたちが楽しみながら天気や防災の知識を学んだ「わくわくお天気・防災教室」=2日、燕市

Q4 今日の教室は勉強になりましたか？



アンケート結果 小学生(34名参加者記入)

Q5 お子様は自然災害への備えを学んだと思いますか？



アンケート結果 保護者(10名参加者記入)

【担い手確保】長岡造形大学と大河津分水100周年記念事業ロゴ共同作成

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

開催場所: 信濃川大河津資料館 外

開催日時: 令和元年9月20日(金) 13:00~17:00

参加学生: 視覚デザイン科 12名

・2022年に大河津分水通水100周年を迎えるため、その記念ロゴの作成を長岡造形大学へ依頼。ロゴ作成のため、学生の大河津分水現場見学を実施、記者発表を行い、広報PRを実施。今後、要所で広報を実施。

見学の様子



大河津資料館



竣工記念碑



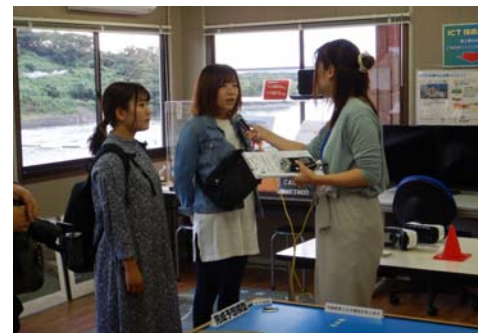
堰操作室



大河津分水路改修工事現場



にとこ工事みえ〜る館



FMながおかの取材

令和元年
9月27日
新潟日報
16面

新聞にも掲載されました



22年に大河津分水路通水100年

長岡造形大 ロゴ作成へ

燕 学生 歴史学び 構想練る

2022年の大河津分水 事業のロゴの作成を長岡造形大へ依頼し、形大に依頼した。同大学の河川事務所は、記念 建築費などをめぐって分水路の歴史などを学び、イメージを練る。100周年を機に分水路の重要性などを広く知ってもらうため、21年から記念事業の実施を計画している。20日、3年生12人が参加した。分水路がなければ、新潟は米どころになっていない。資料館では、国内の土木工事としては、いち早く海外の大規模機械が導入されたことや、分水路の開通によって水害が減り、本県の農業が発展したことなどの説明を受けた。

その後、信濃川河川事務所大河津出張所にある堰の操作室や、現在進められている分水路の拡幅工事を見学した。学生たちは感心した様子で、写真を撮ったり、メモを取ったりしていた。

ロゴは年内に複数の案を作成する。河川事務所は一般投票を検討しており、本年度内に決定する予定。参加した3年の高橋愛実さん(2)は「分水路の開通が多方面に影響を与えたことが分かった。そのことが伝わるようなロゴを作りたい」と意気込んだ。

日時：令和元年 9月 18日（水）

場所：新潟大学 工学部

「土木計画学」集中講義において、田中事務所長より、新潟大学工学部の学生（16名）を対象に「道路施策概論」について講義を実施。

<講義内容>

①道路の計画調査と整備

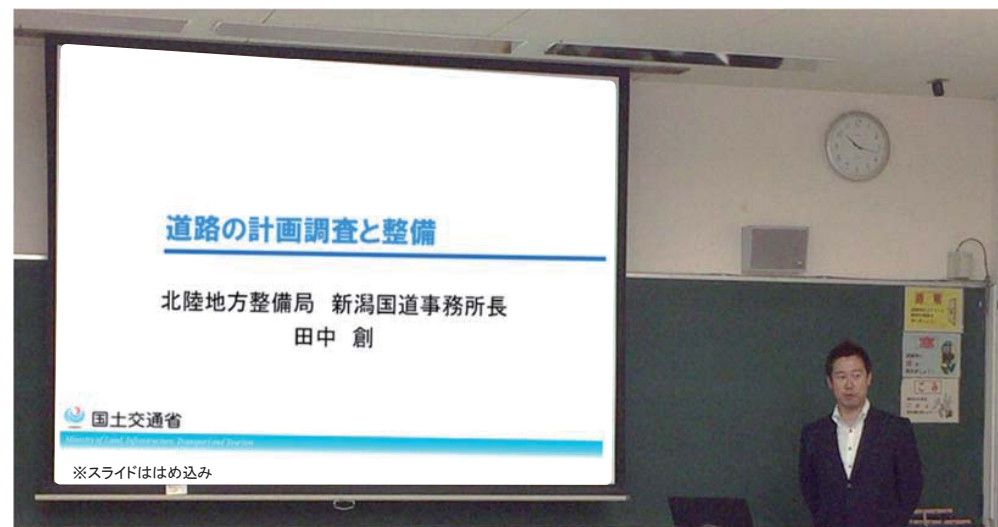
- ・道路の歴史と役割
- ・道路の計画と整備
- ・高速道路
- ・建設業と公共工事の今後の展望

②道路施策と地域との連携

- ・道路の渋滞対策・交通安全対策
- ・身近な道路施策と地域との連携
- ・他の交通モードとの連携

③道路の維持管理と新たな技術

- ・道路の維持管理と防災対策
- ・道路のITS
- ・道路インフラの海外展開



▲「道路施策概論」について講義を行う田中事務所長



▲熱心に聴講する学生の様子

日時：令和元年 7月9日(火)、10日(水)
参加者：新潟工業高校2年生 2名

カリキュラム

9日：事業概要

(栗ノ木道路・紫竹山道路、CIM、
朝日温海道路、電線共同溝 など)
水原バイパス 見学

10日：維持管理・道路メンテナンス

橋梁点検 体験(黒埼管理跨道橋)
舗装補修 見学(津川除雪ST)
橋梁補修 見学(燕市粟生津)



にいこく事業を熱心に学習



栗ノ木道路工事ステップ
360° VRを体験中！



橋下部工事 橋脚の説明



橋梁の打音点検に挑戦！



橋梁補修箇所を確認



バックホウを使って地盤改良

黒埼中学校1年生が道路について学びました！

○黒埼中学校総合学習

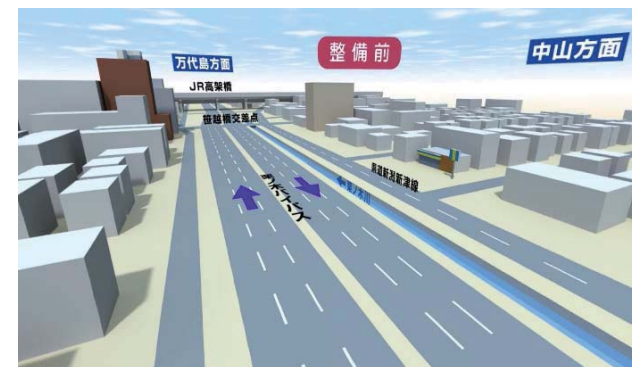
「地域の国道と歴史と未来について」をテーマに黒埼中学校の1年生が事務所を訪問し、道路について学習し、事務所内の施設を見学しました。

日 時： 令和元年6月21日(金)

参加者： 黒埼中学校 1年生4名



▲道路について熱心に学ぶ生徒のみなさん



▲ITSコックピット(情報管理室)を見学



▲360° VRイメージ動画をタブレットでチェック！

▲栗ノ木道路360° VRイメージ動画工事ステップ

そうだったのか！ もっと好きになったよ ぼくたちの萬代橋



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

日 時：令和元年7月12日(金)
参加者：万代長嶺小学校4年生 59名

毎年恒例の清掃活動『萬代橋みがき』を
ひかえた万代長嶺小学校4年生が、萬代橋
の移り変わりと役割について学びました。

7月22日(月)は、みんながもっと好きに
なった萬代橋をピカピカにするぞ！



萬代橋は今より長かったんだ！



もっと詳しく知りたいです！

みんなで萬代橋をきれいにしよう！



【担い手確保】 塩沢商工高校生が橋梁点検を体験

長岡国道事務所

- ・南魚沼市の国道17号「伊田川橋」において、塩沢商工高等学校3年生15名が橋梁点検の現場実習を実施しました。
教室(事前学習)⇒伊田川橋(打音検査)⇒教室(感想発表会)を実施し最後に点検結果の感想を発表しました。
この実習は、将来のインフラ老朽化対策を担う人材育成を目的とし、平成28年度から継続して実施しています。

開催概要

令和元年9月26日(木) 13:30~14:30
高校内で講義⇒伊田川橋(橋梁点検実習)⇒高校内で点検結果報告
〈点検場所〉
国道17号 伊田川橋(南魚沼市塩沢)
〈参加者〉15名(引率教員2名)

見学会の感想

- ・「橋梁点検は橋の色々なところを細かく見ていく必要があり想像よりも大変だった。」
- ・「普段は橋の上を通るだけなので全然損傷に気づかなかったが、橋の下など細部まで点検する必要性が分かった」

今後に向けて

- ・今回実施が9月後半であり時期的に既に生徒の建設会社の就職が決まった生徒が大半であった、今後先生とも相談し早い時期に実施を検討し生徒に情報提供を図りたい。



塩沢商工 教室内(点検後の報告会)



国道17号 伊田川橋(打音検査で浮きの有無を確認)

◆宮城県の1団体、24名の方々が新潟防災センターを見学されました。

◆ 実施状況

■ 登米市消防団南方支団

開催日 : 令和元年8月19日(月)

時間 : 9:30~10:30

実施内容 : 「防災センターの災害対応について」
「災害対策車両見学」

参加者数 : 24名

■ 報道結果

- 記者発表なし
- 報道なし

【今年度の見学団体数 : 11団体】

【今年度の見学者数 : 340名】



防災センターの役割についての説明



遠隔操縦対応型バックホウの見学



照明車、排水ポンプ車、
災害対策車の見学

防災学習(降雨体験)を実施しました

新潟大学教育学部附属新潟小学校5・6年生の皆さんが、西日本豪雨をテーマとした学習の一環で来所されました。

◆ 実施状況

■新潟大学教育学部附属新潟小学校 5・6年生

開催日 : 令和元年9月17日(火)

時間 : 9:45~11:00

実施内容 : 「西日本豪雨における緊急排水活動について」のお話を聞いたあと、降雨体験装置で、平成30年7月西日本豪雨の雨量や日本一を記録した降水量を体験しました。

参加者数 : 17名

■報道結果

- ・テレビ 2局(9/17)
- ・新聞 1紙(9/18)



降雨体験の様子

◆ テレビ・新聞の報道状況



新潟総合テレビ(R1.9.17)



テレビ新潟放送網(R1.9.17)



建設工業新聞(R1.9.18 7面)

R1.9.17

◆ 『ほくぎひろば』において、コープにいがた 暮らしの助け合い たんぽぽの会 がバリアフリー体験をしました。

◆ 体験状況

■ 生活協同組合コープにいがた 暮らしの助け合い たんぽぽの会

開催日：令和元年9月25日（水）

時間：10:00～11:35

実施内容：「車いす体験」
「視覚障害者体験」
「高齢者体験」

体験者数：22名

■ 報道結果

- ・ 記者発表なし
- ・ 報道なし



※北陸技術事務所では事務所施設を体験学習パーク『ほくぎひろば』として、学生や地域の方々に「まちづくり」「防災」「環境」などの学習支援の場として提供しています。



車いす体験



視覚障害者体験



高齢者体験